

ニッポンの  
美味しいを共に創る

# ちくさん クラブ21

2024  
vol. 149



JA全農が  
お届けする

## 畜産情報WEBメディアが リニューアルしました!

2024年4月から、JA全農が提供している畜産情報WEBメディアがリニューアル!  
さらに使いやすくなったWEBサイトで畜産の“今”をお届けします。

### 畜産の“今”をお届けする ちくさんクラブ21



ちくさんクラブ21では、畜産経営に役立つニュースをはじめ、全国の生産者の優れた取り組みをご紹介。  
WEBでは過去記事を含む全記事を無料で公開しています!

- WEB版では過去記事を含む充実したアーカイブで、気になるテーマをチェック可能!
- キーワード検索により検索性が向上しました!
- おすすめ記事が出てくるので、興味のある内容にアクセスしやすくなりました!



画像はイメージ

### 畜産総合メディア JACCネット



畜産経営に欠かせない、肉用和牛・肉用乳牛の素牛の需給、および価格動向、最新の素牛取引成績をお届けします。また、各地の家畜市場サイト、ちくさんクラブ21のホームページともアクセスしやすくなりました!

- 畜産経営に必要な飼料・畜産物相場・情勢を毎月更新!
- 全農主要素牛市場成績・共励会情報を全国マップから検索できます!
- 営農に役立つガイドブック・資材情報を掲載!



画像はイメージ

### ちくさんクラブ21 & JACCネット LINE公式アカウント開設!!

ちくさんクラブ21&JACCネットの更新情報やWEB限定記事のお知らせをお届けします!

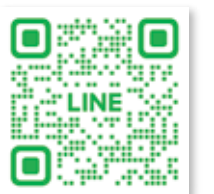


① ホーム画面を  
クリック



② 人のマークから  
登録しよう

友だち登録は  
こちらから!







山梨県甲斐市  
小林英輝  
さん  
一生懸命  
I

特産のブドウを飼料に活用  
地域一体のブランド強化を目指す



### 有限会社小林牧場

代表取締役社長:小林 英輝さん  
住所:〒400-1121 山梨県甲斐市上芦沢1339  
飼養頭数:甲州ワインビーフ(F1)1200頭  
甲州牛(黒毛和種)200頭  
年間出荷頭数:甲州ワインビーフ600頭  
甲州牛100頭  
作業従事者:9名  
農地面積:4ha



HPはこちら

<https://www.winebeef.co.jp/>

ブドウ生産量日本一の山梨県で、ブランド交雑牛(F1)として知られる「甲州ワインビーフ」。餌に、ワインを作る過程で出るブドウの搾りかすを与え、牛ふん堆肥を果樹などの生産に生かす耕畜連携で生産する。同牛のブランド化に40年近く取り組み、県内一の出荷頭数を誇るのが甲斐市の小林牧場だ。数地内の堆肥センターで年間約8000tの堆肥を生産し、直営販売店でブランドを普及する。社長の小林英輝さん(47)は創業から三代目。飼料用米の活用など地域一体のブランド強化を一層進め、畜産を軸にした地域農業の発展を目指す。



ニッポンの美味しいを共に創る

# ちくさんクラブ21

2024  
vol.149

## CONTENTS

- 03 一生懸命 I (山梨県/有限会社小林牧場)  
特産のブドウを飼料に活用 地域一体のブランド強化を目指す
- 08 NEWS 鹿児島県立鹿屋農業高校が初の栄冠  
第7回和牛甲子園
- 12 ET 研便り 全農 ET 研究所の主要事業
- 14 教えて! 中研 テーマ: 夏場対策のポイント  
【乳牛】 乾乳牛への第一胃内保護ナイアシン給与が分娩後の生産性に及ぼす影響  
【養豚】 暑い夏を乗り切るための管理ポイント  
【養鶏】 養鶏の夏場飼料を考える ～暑熱対策の落とし穴～
- 20 Dr. ジーアの My カルテ  
牛ウイルス性下痢 (BVD) 対策について
- 22 一生懸命 II (北海道/有限会社佐々木種畜牧場)  
麦主体の飼料と快適な豚房が決め手! 味の良さと愛される豚肉を生産
- 26 きてみて! うちの学校 (神奈川県/中央農業高等学校)
- 30 NEWS 和牛 ハニューファーム (兵庫県) が最優秀賞  
第43回全農肉牛枝肉共励会
- 32 酪農の“未来を創る”ため、優良事例を共有  
第41回全農酪農経営体験発表会
- 34 資材紹介 ビタミン・アミノ酸入り混合飼料「はつらつモウラック」  
さまざまな環境で頑張る牛たちをはつらつにする
- 36 資材紹介 コエンザイムQ10入り混合飼料「やわらか3Q」  
牛の肉の量と質、どちらにもこだわる方におススメ!
- 38 資材紹介 豚用授乳期サプリメント「プラス1ママミックス3」  
授乳期の母豚をサポートするビタミン・アミノ酸・消化酵素入り混合飼料
- 40 JACC ネット 和牛枝肉共励会・子牛市場情報
- 42 マーケット情勢
- 44 読者の広場
- 46 読者プレゼント 応募方法特集







甲州ワインビーフとともに飼養されている甲州牛（黒毛和種）

#### 直売センター美郷 甲斐島上条店



住所▶山梨県甲斐市島上条3077  
TEL▶055-267-3113  
営業時間▶10:00~18:30  
定休日▶火曜日



#### Memo

### 甲州ワインビーフ



生後6~17カ月まで、ブドウかす5~8%、おから10~15%、酒かす1%、飼料用米10~15%を配合した飼料を給与。ポリフェノールを多く含み、肉の酸化が進みにくいとされ、肉の臭みが少なく、食べやすいと好評。



ワイン生産過程で出るブドウの搾りかすを乳酸発酵



甲州ワインビーフのブランドロゴ



標高1100m  
山々の恵みを生かした  
飼養環境

ルグアイラウンドで牛肉輸入自由化交渉が始まり、畜産経営の将来は不安定な中だった。自由化に伴う補助金も計算に入れ、89年に肥育農家に移行。91年には法人化した。

決断の背景にあったのが、地域の未利用資源のブドウかすを飼料に使う、山梨県ならではのブランド交雑牛の構想だった。91年には、地域に呼び掛けて6戸の畜産農家と1団体で甲州ワインビーフ生産普及組合を立ち上げた。

県畜産試験場や山梨大学と協力し、収穫期にしか入手できないブドウかすを乳酸発酵させて、周年で使える飼料とする方法を研究。JA東日本くみあい飼料などと協力して飼料や飼育方法の工夫を重ねた。今は、黒毛和種の父とホルスタイン種の母から生まれた子牛に、生後6~17カ月の間、ブドウかす5~8%、おから10~15%、酒かす1%、飼料用米10~15%を配合した飼料を与える。

ブドウかすは年間約120tを使用。小林社長は「ブドウかすは抗酸化作用のあるポリフェノールなど機能性成分を多く含むので、子牛の健康増進の効果などを期待しています」と話す。牛はJA全農やまなしと協同し、(株)山梨食肉流通センターへ出荷している。

この季節は  
雪かきがかかせません！



小林牧場は、甲府盆地の北部、山並みに囲まれた標高1100mの平見城地区にある。なだらかな斜面に15棟の牛舎が並び、澄んだ空気の中、約1400頭の牛が、ミネラルを豊富に含む山の伏流水を飲んでのびのびと育つ。

「牛肉の味を決めるのは第一に水、次に餌です。水のきれいなこの地域の牛はおいしい。それを知ってもらうためにブランドを育てることが重要なんです」と小林社長は話す。

果樹王国で知られる同県だが、畜産の規模は小さい。こうした中、特産のブドウを餌に活用し、地域が循環型農業へ連携するストーリー性と品質の良さ、赤身

#### 逆風の中、直売センターで 地道に魅力伝え知名度向上

2000年には、飼育頭数1200頭に規模を拡大したが、ブランドの知名度はなかなか上がらなかった。牛海綿状脳症（BSE）や食肉偽装問題で畜産に逆風も吹いていた。

こうした中、ブランド普及に大きな役割を果たしたのが、直売センター「美郷」だ。市場で自社牧場の枝肉を仕入れ、店舗に備えた加工所でカットして販売。2002年に甲斐市に1号店を出店。生産加工、販売の一貫経営で「安全・安心」をアピールし、顧客の開拓を狙った。

事業を主に担ったのが、当時25歳の小林社長だった。大学を卒業後、大手食品加工メーカーで営業職をしていたが、父の「直売センターを手伝ってほしい」の声に応えた。

ただ、営業の経験はあったが、小売りや店舗経営は初めて。取引先も一から開拓しなければならず、初年は大赤字だった。「甲州ワインビーフ」の特徴であるブドウかすを餌にしている点も、当初はイメージが悪かったという。「廃棄物を食べていることに難色を示される

#### 地域の未利用資源生かし 酪農から肉用牛肥育へ経営転換

小林牧場が「甲州ワインビーフ」の取り組みを始めたのは、1986年ごろ。同牧場は酪農で創業したが、当時の代表で現会長の小林輝男さん（75）は大規模経営に向けて、肉用牛肥育専門農家への転換を模索していた。折しもガット・ウ

のおいしさで県産牛の知名度を高めたのが「甲州ワインビーフ」だ。手ごろな価格で生産者の顔の見える安全・安心な牛肉として、家庭用、贈答品としての地位を確立した。

味の決め手は  
水のきれいな環境と  
餌です！



小林社長



モリモリ食べます！



小林社長（左）とJA東日本くみあい飼料の小松次長（右）

よく話しています！



2600㎡超の堆肥センター



「牛ふん堆肥育」  
15kg入り 363円（税込）  
※価格は2024年3月時点。  
小林牧場で直接購入の場合

甲州牛です!!



「甲州牛」の飼料には、飼料用米や稲わらは、飼料用米や稲わらは、飼料用米や稲わらは

小林社長の今後の目標は「甲州ワインビーフ」の生産者を県域に拡大し、絶対量を増やすこと、そして黒毛和種「甲州牛」のブランド強化だ。2022年4月には、甲州ワインビーフ生産普及組合と甲州牛出荷組合が合併した甲州牛・甲州ワインビーフ推進協議会に加盟。同協議会の副会長を務め、畜産農家の協力体制づくりを進める。

20〜50代の若手農家で山梨県肥育牛研究会を結成し、県外への視察や、ユーチュープでのPR、センサーを使った「食味の見える化」の実験などを実施。地元小学校の見学を受け入れ食育授業にも協力する。JA東日本くみあい飼料山梨営業所の小松健二次長は「研修提案や銘柄牛のPR活動の中心となっている」と評価する。

### 地域一丸となって 県産ブランドを強化

堆肥は毎年すべて完売。農家だけでなく、コロナ禍を経て家庭菜園のリピーターも増えたという。



食育授業を受けた小学生から届いたメッセージ

を餌に活用するなど、果樹農家だけでなく、水稲農家も参加する地域一体のブランド牛生産を構想する。「地域農業を盛り上げることが、ブランドを、ひいては山梨の畜産を守る」と小林社長。乳牛1頭から酪農を始めた祖父、肥育農家に移行して大規模化した父から受け継ぐバイオニア精神で、県産牛の未来を切り拓く。

除草担当のヤギです!!



加工長の佐野さん（右から3番目）と直売センター美郷 甲斐島上条店のスタッフの皆さん



常連客の乙黒さんと挨拶を交わす小林社長



小林牧場の6次化商品



こともありまして」と振り返る。それでも、「味には自信がある。とにかく店を一生懸命やろう」と、地道に魅力を伝えた。甲斐市の小・中学校の給食へも提供し、店舗でのフェアなどを続けるうち、口コミでリピーターが増えていった。3年目には黒字を達成。小林社長は「直売所ブームや消費者の食の安全、環境への意識の高まりも追い風になった」と分析する。

1号店の成功を受け、甲府市、南アルプス市にも出店した。今は3店舗合計で年間7万人以上が来店。約5億円を売り上げ、肥育と並ぶ事業に成長した。

甲斐市の甲斐島上条店で加工長を務める佐野良太さん（35）は「お客さんに食べたい料理を聞いて、最適な部位の提案をするなど、積極的にコミュニケーションをしています」と店づくりの方針を話す。取材時に来店していた乙黒秋子さん（75）は開店以来の常連。「お肉だけはこちらで買う。店員さんや友達と会えるのも楽しみ」と笑顔だった。

枝肉を余すことなく活用するため、レトルトのカレーやシチューなどの加工品も開発。中でも、「甲州ワインビーフカレー」は、日本経済新聞のランキング企画で紹介されて人気商品となった。

### 地域農家と協力して 大規模堆肥センターを設立

知名度向上に伴い、一層の安全性確保へ、生産者情報公表JASの認定を受けた。また、牧場敷地内では農業を問わず、人力とヤギで除草する。小林社長は「実際に生産者情報を検索する消費者は少ないでしょう。それでも安全・安心を求める声に応える姿勢を示すことが、ブランド価値につながると思っています」と話す。

現在は、「甲州ワインビーフ」1200頭と、黒毛和種「甲州牛」200頭を飼育する。規模拡大を支え、耕畜連携の要となるのが、地域の農家と協力して整えた2600㎡の堆肥センターだ。自動で堆肥を攪拌する機械を備え、1日当たり40㎡の堆肥を生産できる。小林社長は「牧場の規模は、ふんの処理能力で決まる。今年は牛舎と堆肥舎のどちらかを増やしたい」と展望する。

堆肥は40日間の高温発酵、30日間の2次発酵をさせて完成。軽トラックで運ぶバラ堆肥は300kg当たり1540円、袋入りは1袋15kg入り363円で販売し、地域で資源を循環させる。生産する



## 第7回和牛甲子園

41校240人の「牛児」集結  
鹿児島・鹿屋農高が初の栄冠

全国から和牛を飼育する高校の牛児が集い、日頃の研究成果と枝肉の品質を競う第7回和牛甲子園が1月18・19日の両日、東京都内で開催された。コロナ禍以降、オンライン開催と実開催の併催が続いていたが、4年ぶりに完全開催が実現。過去最多となる25道府県41校が出場し、会場は牛児たちの熱気に包まれた。

品川グランドホール(東京都)で行われた開会式では、前回大会の総合評価部門最優秀賞を受賞した岐阜県立大垣養老高校の永瀬綾さんが優勝旗を返還。島根県立出雲農林高校の八幡十士郎さんら

5人が出場校を代表し、「和牛のブランド力を世界に広めるため、切磋琢磨することを誓います」と宣誓した。

JA全農の齊藤良樹常務理事は元日に発生した能登半島地震にふれ、被災地の一日も早い復興を願うとともに、牛児らに向けて「和牛甲子園を通じて『和牛飼育は楽しい！ 一生の仕事にしたい!!』と思ってもらいたい。牛飼いの楽しさや奥深さを分かち合える仲間をつくってほしい」と呼びかけた。

総合優勝  
鹿屋農業高校(鹿児島県)総合評価86・8点  
全国41校の頂点へ

本大会は和牛の飼養管理の取り組みについて発表する「取組評価部門」(体験発表会)と、飼養した和牛の枝肉の品質を競う「枝肉評価部門」をそれぞれ50点満点で審査し、両部門の合計得点で「総合評価部門」の最優秀賞が決定する。

高校牛児の頂点、総合評価部門の最優秀賞には枝肉評価部門で48点、取組評価部門で38・8点、総合評価86・8点を獲得した鹿児島県立鹿屋農業高校が輝いた。

「抜群の枝肉」と高評価を受けた枝肉



牛っ!!

宣誓!!



鹿屋農業高校 肉用牛専攻班・鹿児島黒牛研究部の皆さん  
左から山口蒼真さん、長嶺葉月さん、森元陽哉さん、浦崎聖斗さん、門原真央さん

応援に駆け付けたJA全農の和牛応援団長なかやまさんに君と一緒にパワーポーズをきめる高校牛児たち



素晴らしい発表でした!!

取組評価部門 審査委員長  
東京農業大学

多田 耕太郎 教授

枝肉評価部門 審査委員長  
公益社団法人  
日本食肉格付協会

小林 淳二 専務理事

JA全農

齊藤 良樹 常務理事



撮影ブースで

グッ!!



牛児らが書いた寄せ書き



宣誓をした  
出雲農林高校の皆さん





最優秀賞を受賞した枝肉断面

鹿屋農業  
高校総合優勝と枝肉評価部門の  
最優秀賞を受賞！

枝肉評価部門の最優秀賞は、総合優勝を果たした鹿屋農業高校が受賞した。出品した「誠実号」(父＝喜亀忠、母の父＝安福久、母の祖父＝勝忠平)は、枝肉重量635 kg、ロース芯面積107.0 cm<sup>2</sup>、BMS No.12、一価不飽和脂肪酸(MUF)含量の予測値は55.6%。審査講評では「東京食肉市場で同日開催されたどの共励会のチャンピオン牛よりも素晴らしかった。非常に良くできた枝肉だ」と惜しめない賛辞が贈られた。同校2年の森元陽哉さんは「牛は手をかけた分だけ応えてくれるところが魅力。将来は実家を継い

高値でセリ落とされた。

2日目は、東京都中央卸売市場食肉市場で枝肉勉強会と枝肉共励会が開かれた。勉強会では、全農職員が枝肉断面にライトを当てながらポイントを解説。また、共励会では自分たちが育てた牛の枝肉がセリに掛けられると「よろしく願います！」など元気な声援を送り、大盛り上がりとなった。最高値は京都府立農芸高校の1 kg 6506円。生徒らの大声援に後押しされるように、つぎつぎと高値でセリ落とされた。

## 他を圧倒する枝肉

枝肉評価部門  
鹿屋農高(鹿児島県)

賞	学校名	性別	血統			肥育期間	枝肉重量(kg)	格付	歩留等級			BMS
			父	母の父	母の祖父				ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ(cm)	歩留基準値	
最優秀賞	鹿児島県立鹿屋農業高校	去	喜亀忠	安福久	勝忠平	32	635	A5	107.0	11.3	81.4	12
優秀賞	福島県立会津農林高校	去	勝早桜5	安福久	百合茂	30	508	A5	96.0	9.7	80.1	12
優秀賞	岐阜県立飛騨高山高校	雌	孝隆平	花清光	羅威傳王	28	409	A5	66.0	7.6	75.9	12
優良賞	京都府立農芸高校	去	隆安国	直太郎	安福久	34	609	A5	109.0	11.4	81.8	12
優良賞	宮崎県立高鍋農業高校	去	白隆鵬	耕富士	美穂国	30	596	A5	93.0	11.6	78.5	12
優良賞	鹿児島県立市来農芸高校	去	華春福	安福久	金幸福	29	619	A5	106.0	10.7	81.5	12
審査委員特別賞	栃木県立栃木農業高校	去	百合茂	安福久	勝忠平	29	689	A5	85.0	9.9	76.3	11

で日本一の農家になりたい」と語り、会場を沸かせた。同部門の審査委員長で日本食肉格付協会の小林淳二専務理事は「プロポーションや肉質、オレイン酸値が50%以上など素晴らしい枝肉がそろった。入選が叶わなかった学校も来年に向けて奮起してほしい」と激励した。

セリの高評価に喜ぶ  
水戸農業高校の生徒ら

枝肉勉強会の様子



取り組みを発表する加茂農林高校の生徒ら

取組評価部門の最優秀賞は、岐阜県立加茂農林高校が選ばれた。「I LOVE 飛騨牛」をテーマに、配合飼料を見直し、飼料用米を新たに配合することで飼料費の削減に取り組んだほか、牛体温監視システム「胃診電信」を導入し、ルーメン内の温度変化を観察した。繁殖牛が39度前後で安定しているのに対し、肥育牛は不安定なに加え、40度以上になる日が20日

## 地域課題解決に向け挑戦

取組評価部門  
加茂農林高校(岐阜県)

はしもとみあ  
橋本美桜さんわたなべまら  
渡邊煌さんあきたなほは  
秋田風生さん加茂農林  
高校

優秀賞には臭気対策や地域交流に力を入れた中央農業高校(神奈川県)、肥育技術の確立と瑕疵低減に取り組んだ市来農芸高校(鹿児島県)が受賞した。優良賞は、堆肥の新たな有効活用などを発表した大垣養老高校(岐阜県)、アニマルウェルフェアの実践と普及を目指した渥美農業高校(愛知県)、菌床を用いて敷料コスト削減に挑戦した高鍋農業高校(宮

間以上あることに着目。原因を濃厚飼料の多給と仮定し、濃厚飼料の配合率を85%から72%に削減することで健康的に肥育牛を飼養することに成功した。同校3年の橋本美桜さんは「農業高校に入るまでは消費者の立場でしかなかった。はじめて自分も生産者という立場になり、視点が変わった。少しでも地元の農家さんたちの力になりたいと研究した」と力強く語った。

同部門の審査委員長で東京農業大学の多田耕太郎教授は「損失を考えると農家が生産方法を変えるのは難しい。高校生だからこそ、さまざまな取り組みにチャレンジして、安全な失敗もできる。ICT機器などを使って非常に細かくデータをとって調査しており、素晴らしい取り組みだった」と挑戦をたたえた。

## 世界へ和牛の魅力発信

### “着物ブッチャー”が講演



着物ブッチャーの渡邊麻莉夏さん

2日目の特別授業の講師は世界で“お肉”の技術と“和牛”文化の伝道師として活動する、“着物ブッチャー”こと渡邊麻莉夏さん。「私の進路選択と食肉業界」をテーマに、食肉業界や世界に向けて和牛の魅力と普及する活動について話し、学生からは「海外で印象深かった出来事」などの質問が寄せられた。

渡邊さんは「たとえ言葉が通じなくとも、気持ちがあれば相手に通じるものはある。皆さんも、将来はぜひ海外へ出て、和牛のおいしさを伝えてほしい」と牛児らにエールを贈った。

## レジェンド講話

### 農大の特色や仕事まで、進路をアドバイス



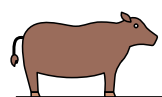
先輩牛児として登壇した中養母陸斗さん(左)、上田平夏美さん(中)、宮下未来さん(右)

特別企画として、第3・4回総合評価部門 最優秀賞受賞校 鹿児島県立市来農芸高校の卒業生3名が“先輩牛児”として登壇し、講話を行った。

非農家出身で株式会社オクトファームで生産牛管理の業務に携わっている中養母陸斗さん(鹿児島県)、社会に向けて農業情報を発信したいとメディア関係の学部に進路変更した上田平夏美さん(神奈川県)、実家の株式会社ミヤボク宮下牧場で働く宮下未来さん(鹿児島県)の3人に農業大学校での生活や特色など、現役牛児たちから質問が寄せられた。

岐阜県)が選ばれた。また、参加した牛児らを選ぶ高校牛児特別賞は加茂農林高校、審査員特別賞は農芸高校(京都府)、鹿屋農業高校(鹿児島県)が輝いた。





## 全農ET研究所の主要事業

これまで『ちくさんクラブ21』の紙面を通して、ET技術を中心に紹介させていただきましたが、「ET研究所のことをもっと知りたい!」というお声をたくさんいただいたので、今号はET研究所の主要事業をご紹介します。

### 全農ET研究所の成り立ち

全農ET研究所は1987年、ET(Embryo Transfer=受精卵移植)技術を活用するため、飼料畜産中央研究所内に受精卵移植研究室を立ち上げ、研究開発をスタートさせました。1999年には本格的に受精卵製造を行うため、現在の上士幌町「ナイタイ高原牧場」内にETセンターを設立し、2012年に名称をET研究所に変更しました。

また、地域の畜産農家、JA、県域JAと連携し、ET技術を活用して都府県の養牛生産基盤の維持拡大を支援するため、岩手県滝沢市に北日本分場、茨城県笠間市に東日本分場、福岡県福岡市に九州分場を、それぞれ配置しました。

### 『受精卵供給』事業

全農ET研究所の事業の中でもっとも大切な事業は受精卵供給です。生産体制も年々強化し、情勢により変動しますが、2022年度は過去最高の約3万

図1 受精卵供給

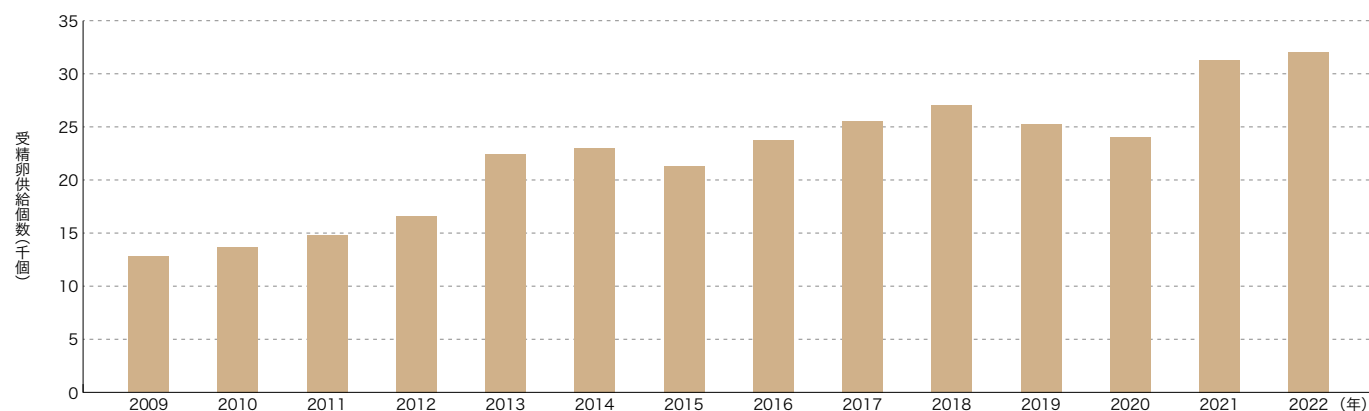
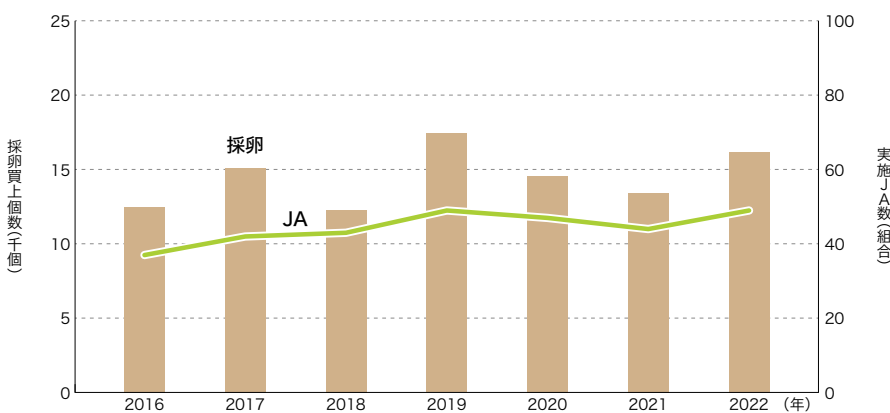


図2 農家採卵買上



2000個の受精卵を全国に供給しました(図1)。

月2回、凍結受精卵のリスト販売を行っているので、お近くのJA等に全農ET研究所の凍結受精卵リストについてお問い合わせください。なお、全農ET研究所のブログ内でも凍結受精卵リストを掲載しておりますので、こちらも併せてご覧ください。

繁殖技術の最新情報の紹介や凍結卵リストの発信も行っている

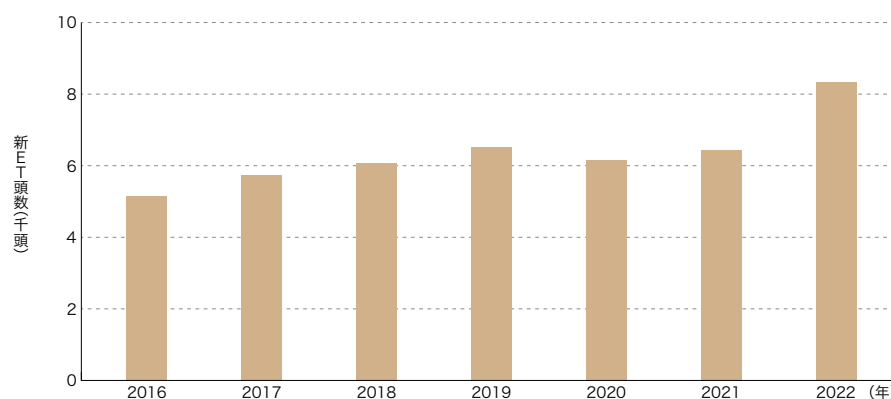


### 『農家採卵』事業

日本国内の和牛生産基盤の維持拡大のため、生産者、JA等と全農ET研究所が連携して、受精卵の生産体制強化、生産者の所得向上につなげるのが『農家採卵』事業です。生産者が所有する和牛繁殖牛から受精卵を採取し、全農ET研究所が買い上げることで、生産者は受精卵の販売による所得を得ることができます。

和牛受精卵の需要増加に伴い、農家採卵による製造個数が増え、参加するJAや生産者も増加傾向にあります(図2)。

図3 新ETシステム実績



### 新ETシステム

全農ET研究所の職員が生産者の農場へ出向き、発情周期同期化から移植までを行う『新ETシステム』は、実施頭数が年々増加し、2022年度は8千頭を超えました。子牛販売を目的としたホルスタイン、血統更新を目的とした和牛、ごく稀に闘牛など、受卵牛は多岐にわたります(図3)。

なお、前述の『農家採卵』と『新ETシステム』を組み合わせ、体内新鮮卵の「高受胎性」を最大限に生かす『シンクロET』も実施しており(図4)、季節を問わず安定した受胎率が得られています

(ちくさんクラブHPで123号10pを参照)。

### 和牛精液の供給

全農ET研究所では、ゲノミック評価により選抜した黒毛和種種雄牛を飼養し、精液を供給しています。枝肉6形質(※)を中心に、各形質に特徴を持つ種雄牛を選抜し、不受胎対策をはじめ、幅広く活用いただいています。パンフレットも作成しておりますので、ぜひご覧ください。

和牛精液のパンフレットはこちらから



※ 枝肉6形質とは、枝肉重量、ロース芯面積、バラ厚、皮下脂肪厚、歩留基準値、BMS-No.の形質のこと。

### GENEX精液の販売

都府県の酪農基盤対策の一環として全農ET研究所では、GENEX社の所有する、乳牛種雄牛の精液を都府県に供給しています。GENEX社種雄牛の特長は、中型で健康なこと、および長命性にあり、経済性を重視した能力であることから、経営の安定化への貢献が期待されます。

こちらにつきましても、パンフレットをぜひご覧ください。

GENEX 精液のパンフレットはこちらから

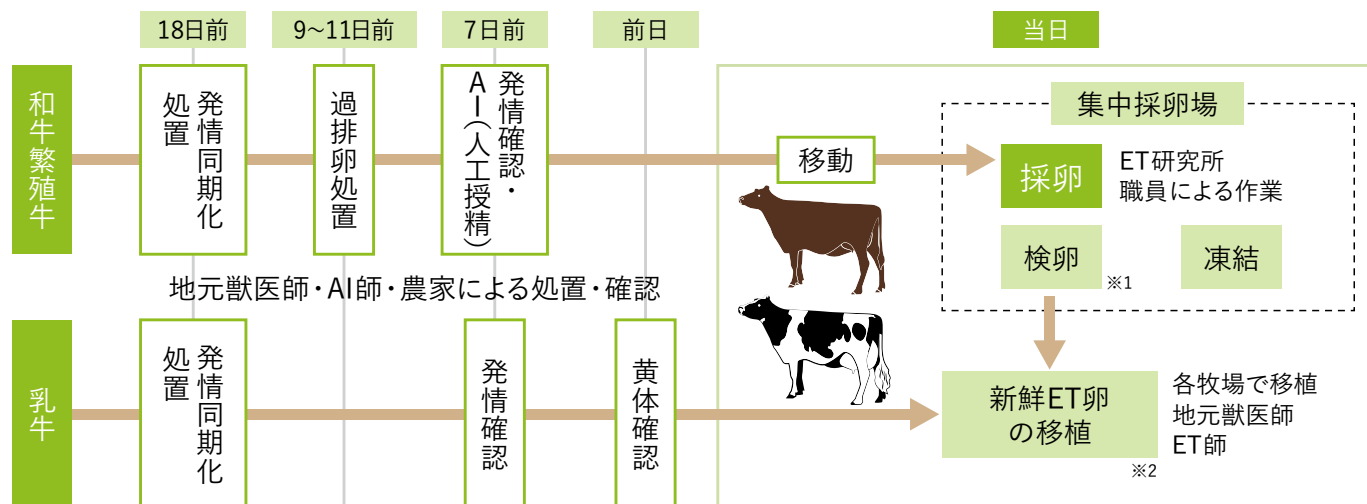


このように、全農ET研究所ではさまざまなラインナップを取り揃えながら事業を展開しております。次号以降、各事業をさらに掘り下げてご紹介させていただきますので、引き続きご覧いただけると幸いです。

全農ET研究所の紹介動画



図4 シンクロET概要図



※1 採取したET卵は、検卵後、①移植に適したもの(凍結もしくは新鮮ET卵として同日移植)、②移植に適さないもの、に選別。  
※2 農家採卵で十分な個体のET卵が採取できない可能性があるため、凍結卵を準備。





# 乾乳牛への第一胃内保護ナイアシン給与が分娩後の生産性に及ぼす影響

暑熱環境は家畜の恒温性に直接作用するため、生産性低下の要因とされてきました。乳用牛では飼料摂取量および泌乳量の減少や繁殖性の低下、肉用牛では飼料摂取量の減少や発育停滞が生じると報告されています。株式会社科学飼料研究所が1月に販売したストレス対策サプリメント「はつらつモウラック」は、暑熱対策としても利用できます。その効果についてご紹介します。

笠間乳肉牛研究室

## 飼料による暑熱対策

暑熱対策の基本は送風機などの通気によるクーリングです。トンネル換気や微細ミストなどの環境対策をしても効果が得られない場合は、飼料による暑熱への悪影響の低減化が期待できます。

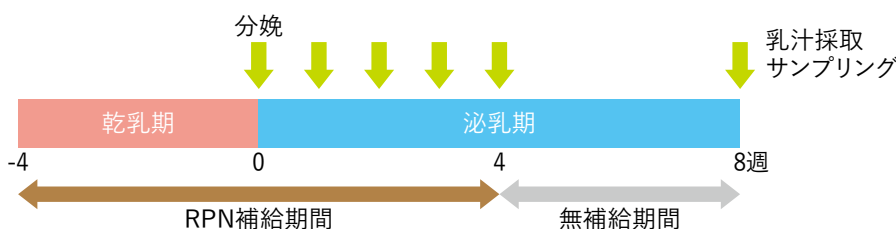
「はつらつモウラック」には、分解されない保護処方をした、ビタミンB群に属するナイアシンが含まれています。ナイアシンは補酵素としての作用以外に、皮膚の毛細血管拡張に働き、皮膚からの体温放出が促進されることで気温上昇に伴う体温上昇を抑えるとされています。泌乳牛への補給効果の報告が多く、0.5～0.8℃の範囲で体温が低下するようで、中には乳量が増加した報告もあります。

乳用牛の場合、泌乳期だけでなく、乾乳期に受けた暑熱の影響が泌乳期の実産性低下につながります。本試験では、暑熱期のホルスタイン種乾乳牛における第一胃内保護ナイアシン(以下、RPN)の給与が分娩後の生産性に及ぼす影響を調査しました。

## 材料および試験方法

分娩予定4週前の平均産次約2.0産のホルスタイン種乾乳牛22頭を供試しました。平均産次、月齢およびRPN補給の有

図1 試験スケジュール



無で供試牛を2区(対照区・RPN区)に割り当てました。RPN区にはRPN50g/日/頭(ナイアシンとして20g/日/頭)を朝夕にトップドレス(餌に振りかける手法)で等分給与しました(表はWebにて掲載)。

試験期間は分娩前4週から分娩後8週までとし、分娩前4週から分娩後4週までをRPN補給期間としました。0、1、2、3、4、8週の乳汁を採取しました(図1)。

## 結果

### 乳量および乳質向上

#### (1) 試験期間中の温湿度指数

各期間の1日の平均温湿度指数(以下、THI)を表1に示しました。両区ともに分娩前のTHIが最も高く、分娩後5～8週のTHI

表1 試験期間中の温湿度指数

	対照区	RPN区	SEM
分娩前	72.2	73.6	1.18
分娩後1～4週	69.2	68.9	1.57
分娩後5～8週	64.6	64.7	1.95

が最も低くなりました。暑熱ストレスの指標とするTHI68を分娩前から分娩4週目までは上回りましたが、分娩5週目以降は暑熱ストレスの指標を下回りました。

#### (2) 初乳産生量および初乳質

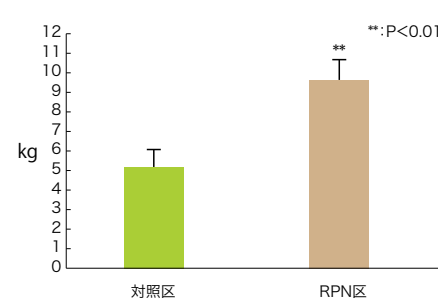
分娩後24時間の初乳の産生量を測定しました。初乳の産生量は乾乳期に4週間RPNを補給すると増加しました(図2)。

次に、子牛の免疫獲得に重要な役割を果たす初乳IgGについて、初乳中濃度と産生量を測定しました(図3)。初乳中IgGの濃度はRPN補給の影響を受けませんでした。

一方、初乳中IgGの産生量は乾乳期における4週間のRPN補給により増加しました。これらの結果から、乾乳牛に対する4週間のRPN補給は、初乳産生量およびIgG産生量を増加させますが、初乳の産生量が多いとその分、初乳成分が希釈されるため、IgG濃度換算では明瞭な差にならないことが分かりました。

初乳におけるその他の成分について、RPN補給は脂肪割合、無脂固形割合、蛋

図2 初乳産生量



白割合に影響しませんでした。産生量に換算した脂肪産生量、無脂固形産生量、蛋白産生量はRPN補給により増加しました(表2)。

#### (3) 子牛の生時体重

子牛の生時体重を測定しました(表はWebにて掲載)。両区とも雄のほうが雌より生時体重が大きい結果になりましたが、乾乳牛へのRPN補給の影響は受けませんでした。すなわち、乾乳牛にRPN補給を行っても、生まれるまでの胎児の発育には悪影響を及ぼしませんでした。

#### (4) 乳量および乳成分

分娩後8週間の乳量および乳成分を比較しました(表3)。分娩前後4週間のRPN補給は乳量を増加させました。常乳にお

表3 分娩後の乳量および乳成分

	対照区	RPN区	SEM	P値		
				処理	時間	交互作用
乳量(kg)	35.9	44.4	1.32	<0.001	<0.001	0.193
脂肪(%)	4.06	3.94	0.08	0.448	0.256	0.078
脂肪産生量(kg)	1.46	1.75	0.06	0.060	0.152	0.666
無脂固形(%)	8.53	8.58	0.07	0.739	<0.001	0.419
無脂固形産生量(kg)	3.06	3.81	0.12	0.006	0.041	0.661
蛋白(%)	3.17	3.19	0.05	0.902	<0.001	0.262
蛋白産生量(kg)	1.14	1.42	0.05	0.012	0.126	0.685
体細胞(万/ml)	81.2	55.2	23.94	0.599	0.308	0.436
MUN(mg/dl)	8.64	9.08	0.31	0.492	<0.001	0.796
4%FCM(kg)	36.3	44.1	1.39	0.022	0.035	0.813
ECM(kg)	38.9	47.4	1.49	0.017	0.152	0.850

分娩後8週間の平均値を示した

図3 初乳中IgG濃度、IgG産生量

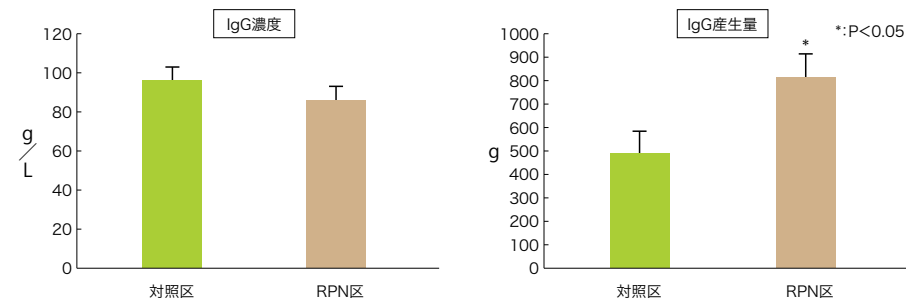


表2 初乳成分 (IgGを除く)

	対照区	RPN区	SEM	P値
脂肪(%)	5.2	5.8	0.63	0.645
脂肪産生量(kg)	0.25	0.56	0.05	0.003
無脂固形(%)	23.4	22.6	0.61	0.501
無脂固形産生量(kg)	1.20	2.15	0.18	0.004
蛋白(%)	19.4	18.5	0.65	0.490
蛋白産生量(kg)	0.99	1.75	0.14	0.005
MUN(mg/dl)	48.5	50.2	1.70	0.637

ける脂肪割合、無脂固形割合、蛋白割合について区間差は確認できませんでした。産生量に換算した脂肪産生量、無脂固形産生量、蛋白産生量はRPN補給により増加しました。

#### (5) 治療日数

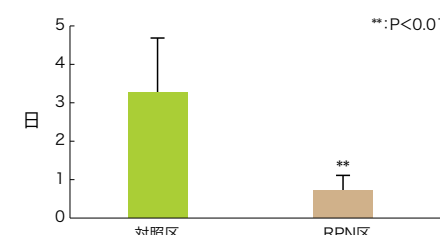
分娩前4週から分娩後8週までの間の平均治療日数を図4に示しました。RPN区

の平均治療日数は対照区より低い値を示しました。RPN補給は移行期による悪影響を低減し、その結果として健全性が向上したと考えられます。

## 第一胃内保護ナイアシン給与で乳量および乳質を向上

分娩前後の第一胃内保護ナイアシン給与は初乳・常乳にかかわらず、乳量および乳質を向上させる可能性が示されました。第一胃内保護ナイアシンを配合した「はつらつモウラック」で今年の暑い夏を乗り切ってはいかがでしょうか？

図4 分娩前後の治療日数



※詳しい検査結果はこちらからご覧いただけます。





養豚



# 暑い夏を乗り切るための管理ポイント

夏場に枝肉単価が上がる理由は、暑すぎる気温、母豚繁殖成績や肥育成績の悪化、出荷頭数の減少などが挙げられます。これらの影響をできるだけ抑えるためのポイントと、問い合わせの多い3つのトピックスを記載しました。できるところから取り組んでみてください。

養豚研究室

## 事前準備の夏場対策のポイント

2021年4月号 飼料給与の記事

- ・飼料を食べない場合の準備。
- ・日射の軽減、通風の重要性。
- ・飼育密度の重要性。

2018年6月号 飼料管理の記事

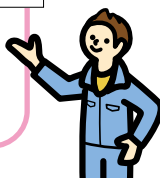
- ・飼料タンクへの遮熱塗装の実施の重要性。

2022年6月号 環境調査の記事

- ・環境調査の重要性。
- ・空気の流れを把握する簡単な環境調査。



二次元コードから  
対策のポイントが  
分かる過去記事が  
読めるよ！



START

暑熱ストレスで  
母豚の  
受胎率が低下

GOAL

出荷減で  
枝肉単価が上昇

夏場の枝肉単価が  
上がる理由と  
夏場対策の  
関係イメージ

12～1月産まれの  
子豚が少ない

来年6～7月に  
出荷できる  
肥育豚が少ない

対策の  
ポイント



2020年6月号  
母豚への対策の記事

- ・ドリップクーリングの方法。
- ・気温の高い日中の飼料給与を避ける。
- ・ホースを用いた水洗腸。

問い合わせ  
多数!!

2010年8月号  
雄豚への対策の記事

- ・雄豚の睪丸の温度を下げる方法。
- ・精液性状の確認の重要性。

2017年6月号  
送風の記事

- ・送風による体感温度を下げる方法。
- ・風速1m/秒で、体感温度を4℃下げる。

2021年6月号  
給水管理の記事

- ・流量の目安は2,000ml/分が基本。
- ・給水器の交換で、流量の回復を期待。

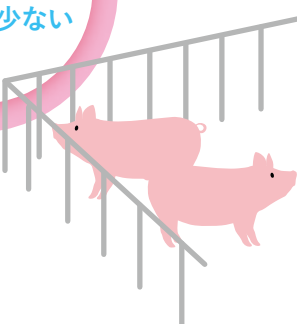
対策のポイント

2023年4月号 飼育密度の記事

- ・肥育豚の飼育密度の重要性。

2022年6月号 環境調査の記事

- ・風速による換気ムラや換気量の確認と重要性。



トピックス1

## 新発売！2024 年初夏リニューアル予定

夏場にどうしても痩せてしまう授乳母豚もいると思います。そこで新発売の「プラス1ママミックス3」をご紹介します。

特徴

母豚のためのアミノ酸や、母豚が栄養を吸収しやすいエネルギー源や消化酵素を工夫して配合しています。また、ストレスの多い母豚のために、機能性の原料であるビタミンEやコエンザイムQ10を配合



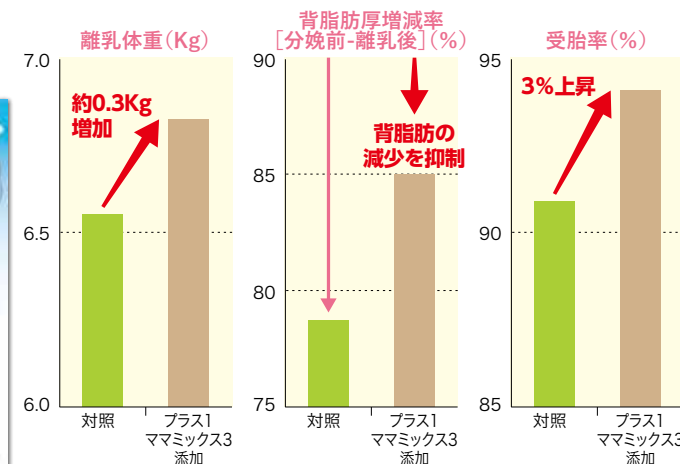
使い方

授乳期用の飼料に、1日1母豚当たり50～100gを添加

※製品のお問い合わせは  
JAグループへお願いいたします。

試験データ

JA全農 飼料畜産中央研究所・共同開発



夏場のサプリメント給与により、子豚離乳体重の増加・母豚の背脂肪の減少抑制等が確認されました

トピックス2

豚は動物の中でも尿を濃縮する腎臓の機能が発達していないため、利用可能な水分が体内で再吸収されません。そのため、他の動物より、多く飲水ができる環境が必要です。

飲水量の目安は、飼料摂取量の2～3倍です。また、豚が飲水量や飲水に費やす時間は気温や流量の影響も受けるため、必要な流量(表)を確保することが大切です。

流量の測定方法

用意するもの：ペットボトル、腕時計  
流量が不足している場合は十分な飲水ができず、飼料摂取量も減る可能性があります。

表 各飼養ステージに必要な流量について

ステージ	流量 (単位: リットル/分)	500mlペット ボトルの目安 (単位:満杯に なる本数/分)	2リットルペット ボトルの目安 (単位:満杯に なる本数/分)	飲水量 (単位: リットル/日/頭)
哺乳子豚	0.6	約1本	—	0.5-1.5
6～10kg	0.6	約1本	—	1.0-1.5
10～40kg	1.6	約3本	約8割	2.5-5.0
40kg以上	1.5	約3本	約8割	5.0-10.0
妊娠豚	2.0	約4本	約1本	10.0-15.0
分娩豚	2.0	約4本	約1本	15.0-25.0

Lewis et al.,2001を養豚研究室で追記して作成しました

ります。対策としては、給水器が詰まっている可能性がありますので、取り外して掃除したり、新品に交換しましょう。



トピックス3

夏バテした母豚への対応の1つに、水洗腸が有効なこともあります。清潔なホースを母豚の肛門に挿入して、水を流します。腸は、血流量も多く、流し込んだ水により速やかに温

度を下げることができ、豚の体調も回復することが経験上多いです。ぜひ、試してみてください。





鶏

# 養鶏の夏場飼料を考える ～暑熱対策の落とし穴～

過ごしやすい春は気付けば夏となり、鶏にとって過酷な時期がやってきます。近年、地球温暖化により一層過酷な暑さとなった夏場に向け、成績を維持するための様々な対策が畜種ごとに存在します。養鶏における対策の一つが、夏場向けの飼料設計による対策です。一般的に養鶏では、飼料中の粗タンパク質（CP）水準を下げ、代謝エネルギー（ME）水準を上げることで夏場の成績維持に有効であるとされていますが、それは本当なのでしょうか？ 養鶏研究室

## なぜ夏場の産卵成績は下がるのか

暑熱環境下の鶏が抱えている問題について理解することで、ご自分の鶏群における対策の必要性が判断しやすくなります。

重要となるのは、体の構造上、鶏は熱を逃がしにくいという点です。例えば、ヒトには汗をかくて熱を逃がすための汗腺が存在します。しかし、鶏には汗腺の働きをする機構が存在しないため、パンティング（激しい呼吸）による熱放散で体温を調整する外ありません。環境温度が16℃から26℃に上がることで鶏の呼吸数は4倍に増加と言われており、それに伴い体内のエネルギー消費も増加します。この場合、鶏は限られたエネルギーからさらに産卵に必要なエネルギー量を確保する必要があるため、暑熱環境下では産卵行動自体が、鶏にとって負荷のかかる行動となります。

表1 鶏における各栄養素の熱増加量 Emmans, (1994)

栄養素	熱増加量 (kcal/g)
脂肪	1.05
炭水化物	3.92
タンパク質	8.72

## 夏場飼料の低 CP 高 ME 化理論

前述のような鶏の性質を踏まえ、生産性を維持するための夏場対策における要点は、鶏の体内で発生する熱量を減少させることにあります。

今までに、食事をしたら体が熱くなったという経験はありませんか？これは、摂取した栄養素が体内でエネルギーだけでなく、熱にも変換（生産）されることに起因します。生産される熱量は栄養素ごとに異なり、タンパク質は特に高いことが知られています。鶏においては、脂肪を1g摂取した場合に体内で生産される熱量は1.05kcalであるのに対し、同様の条件でタンパク質を摂取すると生産される熱量は8.72kcalとおよそ8倍です（表1）。そのため、飼料中から熱生産量の高いタンパク質含量を減らし（低CP化）、熱生産量の低い脂肪を用いてエネルギーを充足（高ME化）させることで、飼料によ

表2 飼料の脂肪含量の増加により減少する熱発生量 Dale and Fuller (1979)

	飼料A	飼料B
飼料分析		
ME(kcal/kg)	3190	3190
タンパク質(%)	22.0	22.0
ME中の脂肪割合(%)	12.6	33.6
熱発生量(摂取エネルギー%)		
実験1	60.0	57.6
実験2	56.0	53.7
平均	58.0	55.7

る鶏体内の熱生産量を抑えつつ、効率的にエネルギーを供給することが可能であると考えられてきました。また、低CP化を行わず、飼料エネルギーに占める脂肪含量を高める方法でも熱生産量が2%程減少する結果が報告されています（表2）。

## 実際のデータから考える、夏場飼料の低 CP 高 ME 化

では、実際に飼料の低CP高ME化は、夏場対策としてどれほどの効果があるのでしょうか。当研究所では、CP18%・ME2850kcal/kgの飼料を対照区とし、試験区ではCP水準はCP14～20%の範囲で2%刻みに、MEは対照区より100kcal/kg高めた2950kcal/kgで設定し、試験を行いました（表3）。試験には18週齢の若齢鶏（ジュリア）を使用し、32週齢までの毎週の産卵成績を比較することで夏場対策としての効果を確認しました（図1）。また、試験中に最高気温の週平均が30℃を超えた25～31週までを、特に影響のあ

表3 当所で行った試験区分

試験区	CP	ME	鶏種	試験 開始日齢
対照区	18.0	2850	JL	120日齢
CP14%区	14.0	2950		
CP16%区	16.0			
CP18%区	18.0			
CP20%区	20.0			

る暑熱期としました（図2）。

結果より、対照区と比較してCP14%区・16%区は暑熱期に産卵成績の悪化が見られました（図2）。特にCP14%区では通期の産卵成績が93.3%と、対照区よりも3%以上低い結果が出ています。10万羽規模の養鶏場であれば、1日あたりに出荷できる卵が3000個減少することになるので、非常に大きな損害です。実際の理論とは異なり、暑熱期における極端な低CP化は鶏に悪影響を与えてしまうことが分かります。また、これは暑熱に関わらず、単純に若齢鶏に必要なたんぱく量が満たせていなかったことも原因と考えられます。

対して高CP化を行ったCP20%区では、飼料摂取量がCP14%区に次いで低く推移したほか（図3）、暑熱期の産卵率を改善する効果は認められませんでした（図2）。このことから、暑熱環境下での高

CP飼料は鶏にとって特段良い影響が無いことがわかります。

対照区とCP18%区では、対照区において通期の産卵率が優れたものの（図1）、暑熱期における産卵率は高ME化を行ったCP18%区の方が優れる結果となりました（図2）。数値としては0.4%ほどになりますが、図2を確認すると対照区よりも安定して高い産卵率を維持しています。前項で話したように、飼料中の脂肪含量を増やしたことで鶏の体内で発生する熱を抑え、産卵に必要なエネルギーを供給できた可能性があります。

## まとめ

以上のことから、夏場の飼料対策は…

- ①低CP化は得策ではない。
- ②高ME化により暑熱下での代謝熱の発生を抑えるのは効果的な可能性がある。

ということがわかりました。（ただし、例

えば35℃を超えるような極端な酷暑期については、これらの理論が通用するかさらなる検証が必要です。）

今年の夏は昨年よりも平均気温が高くなる可能性が高いことが気象庁より予想されています。飼料による夏場対策は必要か、鶏の様子を見ながらぜひ検討してみてください。

## おまけ

### 飼料で出来る夏場対策

- Q** 夏場に卵殻が弱くなってしまった…。
- A** 重曹の添加（0.1～0.3%）が効果的です。パンティングによる血液pHの上昇を引き戻してくれるなど、鶏体内の恒常性を維持する点で有効です。また、全農の開発した夏場対策混合飼料「エスク2」という資材もありますので、お近くのくみあい飼料担当者までお気軽にお問合せください。

図1 各飼料を給与した場合の産卵率と卵重の推移（通期）

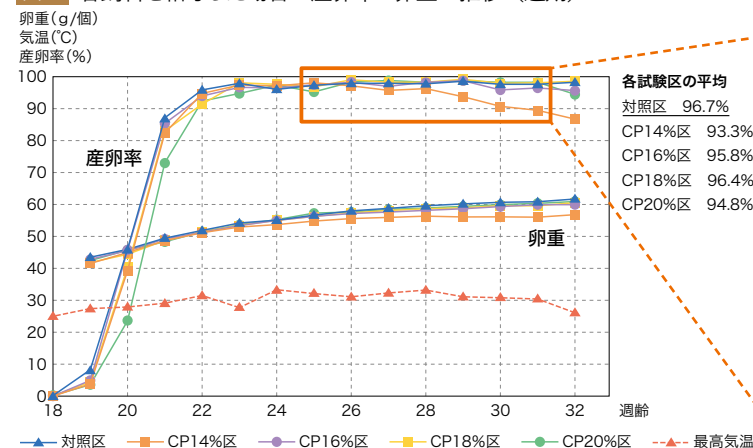


図2 各飼料を給与した場合の産卵率の推移（暑熱期）

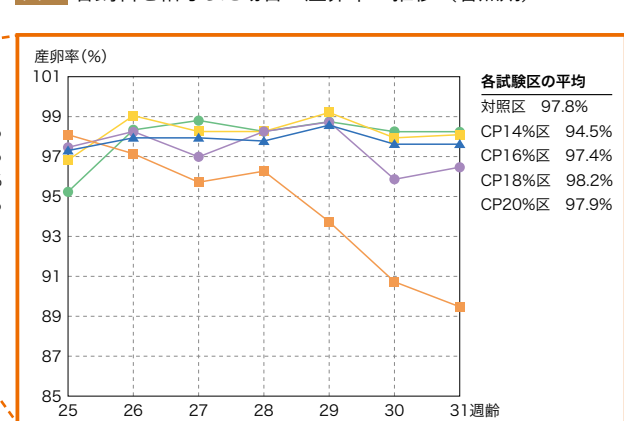
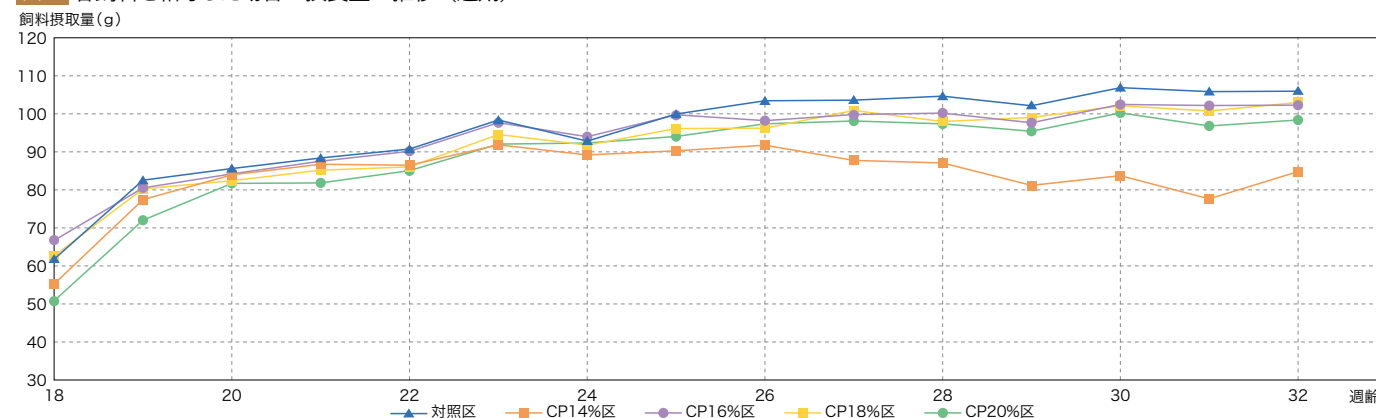


図3 各飼料を給与した場合の摂食量の推移（通期）





## 牛ウイルス性下痢(BVD)対策について

牛ウイルス性下痢（以下、BVD）は多様な症状を示し、届出伝染病に指定されています。BVD感染による受胎率の低下や酪農場での生産乳量の減少、二次感染による症状の重篤化は、畜産経営に大きな損失をもたらします。

### 1 BVDの症状と持続感染牛の発生

#### ポイント 妊娠牛がBVDに感染しないよう予防する

多くの場合、症状は一過性で、発熱や下痢、鼻汁、泌乳量の低下などの症状が現れますが、体内で抗体を産生してウイルスを排除し2～3週間で回復します。しかし、細菌や他のウイルスとの混合感染があると重篤化し、症状が長期間にわたることがあります。強毒株の場合は、血便、発熱、食欲廃絶、肺炎等の症状を示し、死亡することもあります。

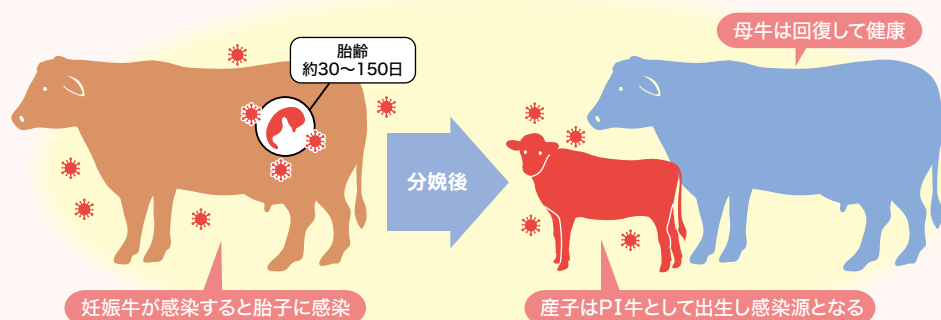
妊娠牛が感染すると、繁殖障害（流産、胎子奇形）が起きますが、胎子の免疫機能が形成される胎齢30～150日に

感染すると、胎子体内で抗体が作られず、唾液や鼻汁、糞便、尿、乳汁、精液等から多量のウイルスを排泄し続ける持続感染牛（以下、PI牛）として生まれます。

PI牛は一見健康に見えることも多く、気づかない間にBVD感染を広げる原因とな

ります。また、PI牛の治療法はなく、PI牛からはPI牛が生まれます。発症率は低ですが、体内でウイルスが変異すると粘膜病となり、食欲の廃絶、元気消失、水様性下痢、血便などの重篤な症状が出て100%死亡します。

#### BVD持続感染牛の発生



### 2 BVDの予防対策

#### ポイント 検査の徹底で農場内からBVDウイルスを排除

最も効果的な対策は、農場内にPI牛がいるかを確認し、いた場合には淘汰して農場内からBVDウイルスを排除することです。全頭検査の際には、個体ごとの血液や鼻汁スワブからの検査の他、酪農場ではバルク乳を用いたスクリーニング検

査も可能です。

次に、農場内にPI牛を入れないことです。導入牛は、検査でPI牛でないことが確認できるまで、農場の牛と接触しないよう隔離して管理しましょう。妊娠牛を導入する場合、妊娠牛が健康牛であっても、導入前にBVDに感染していた場合、PI牛が生まれる可能性があるため、子牛も検査しましょう。また、複数の農場から牛が

集まる預託育成牧場などではPI牛から感染が広まる可能性もあるので注意が必要です。

感染予防及びPI牛の産出リスク低減のためには、ワクチン接種が有効です。獣医師の指導・注意を厳守し接種しましょう。また、初生子牛には抗体が含まれる免疫母牛の初乳や初乳製剤をしっかり飲ませることも大切です。

### 3 ケーススタディ(事例)

#### BVDによる経済的損失

##### 事例1（農場概要：子牛育生農場、飼養頭数約350頭）

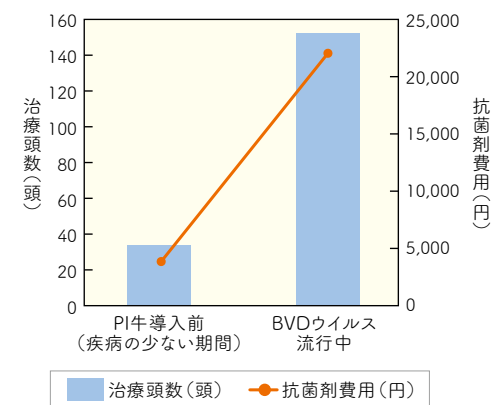
主に近隣の酪農家から乳雄・F1子牛を導入している農場で、PI牛であることに全く気づかずに3日間隔で2頭を導入。2頭のうち1頭は哺育舎、もう1頭は離乳舎に入り、その後、哺育舎での治療頭数や抗菌剤費用が増えた（図1）。

哺育舎にいた他の4頭でもBVDウイルスを検出。遺伝子解析の結果、4頭は同じ哺育舎の

PI牛からではなく、離乳舎に導入したPI牛のBVDウイルス株に感染していたことが判明した。

本事例では、PI牛の導入が治療頭数増加につながった。また、牛舎間で感染が拡大していたことから、BVD対策においても飼養衛生管理基準に基づく日常の衛生対策が大切で、特に日齢が若い牛は感染しやすいため注意が必要だ。

図1. BVD流行の10日間における治療頭数と抗菌剤費用



##### 事例2（農場概要：子牛育生農場、飼養頭数約150頭）

近隣の酪農場からET産子（黒毛和種、3日齢）を導入したところ、呼吸器症状を示す子牛が増え、5頭が死亡した。検査により、導入牛がPI牛であること、および農場内でのBVD感染が判明したため、PI牛の摘発淘汰、消毒強

化等によるハッチ間での伝播防止、ワクチン接種の徹底などのBVD対策を実施した。BVD感染が落ち着くまでの約1年間で11頭もの子牛が肺炎で死亡。BVDとマイコプラズマ・ボビス（以下、M.bovis）との混合感染により肺

炎症状が重篤化したと考えられた。

BVD沈静化後はM.bovis感染は断続的に発生したものの、中耳炎や軽度の呼吸器症状が散発するのみで重篤化する牛は認められず、肺炎による死亡事故はなくなった。

### 4 海外や日本での発生状況

欧州諸国では国家的なBVD清浄化対策が進んでいます。例えばドイツでは、PI牛の摘発淘汰とワクチン接種、バイオセキュリティ強化（BVD陰性農場の認定および陽性農場からの牛の移動制限）など約10年間の対策により2023年に清浄化を達成しました。日本では、2016年に農水省が防疫対策ガイドラインを示しました。啓発活動や検査強化とPI牛の摘発・淘汰の推進により、ここ数年の届出件数は減少傾向ですが、毎年100～400頭ほど全国各地で発生しています（表1）。

表1. 日本のBVD届出頭数

地方	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
北海道	210	200	168	144	62
東北	14	17	17	3	6
関東	54	71	40	31	20
中部	0	3	1	0	0
近畿	50	10	4	2	2
中国・四国	13	23	16	41	1
九州・沖縄	41	35	19	14	28
合計	382	359	265	235	119

監視伝染病の発生状況：農林水産省HP（[maff.go.jp](http://maff.go.jp)）より集計

### 5 BVD対策の実施について

BVDはしっかりとした対策を実施すれば防げる疾病です。JA全農家畜衛生研究所クリニックセンターでは、血液や鼻

汁、乳汁、糞便からのPCR検査を実施しています。また、遺伝子型のシーケンス解析も可能です。ワクチンプログラムの策

定・見直し等も有効な対策です。管轄のJA・経済連・くみあい飼料・県本部へご相談ください。





佐々木 信男 会長

効率のために  
味を妥協することはしない



知床しゃりブランドの  
一つに選定された  
「サチク麦王」



[https://www.shiretoko-gourmet.com/product\\_sachiku.html](https://www.shiretoko-gourmet.com/product_sachiku.html)



(有)佐々木種畜牧場



北海道斜里町

佐々木  
種畜牧場

一生懸命

II

麦主体の飼料と快適な豚房が決め手!  
味の良さで愛される豚肉を生産



Sasaki Syuchiku farm



ふかふかの  
麦わら大好き

有限会社佐々木種畜牧場

社長:佐々木 隆さん

住所:北海道斜里町字美咲69

生産部従業員数:5人

飼養頭数:3500頭(うち母豚270頭)

年間出荷頭数:6000頭

HPはこちら



<https://sachiku.jp/>

佐々木種畜牧場は、現会長の佐々木信男さん(91)が、1960年に創業した。今は長男の隆さん(61)が社長、次男の勉さんが専務を務める。

地元を代表する  
ブランドとして定着

オホーツク地域の玄関口の女満別空港から車で約50分。牧場に到着してまず気付くのが、豚舎の臭いがまったくしないことだ。  
「きれいな豚にストレスを与えないため、寝床とする麦わらは、週に1回交換して、豚舎も消毒しています」と話すのは、飼養管理を担う専務の佐々木勉さん(59)。清潔に保たれた豚房は1頭当たり1・8㎡と通常の2倍で余裕がある。ふかふかの麦わらのベッドの中を駆け回る豚は表情も明るく感じられる。  
快適な飼育環境が高品質な豚を育てる。上物率はコンスタントに70%を超える。80%に達することもある。場長を務める従業員岩崎則昭さん(48)は「手間はかかるが、週2回の出荷で上物率が高いとやりがいを感じる」と笑顔を見せる。豚は全量を、JAしれとこ斜里を通じてホクレンに出荷する。

ストレスを与えない環境を大切にしています

地域に愛されるブランドを目指しています

ホクレンが種豚の供給を始める、2011年からは、種豚をホクレンから仕入れ、肉豚の販売に専念。種豚生産で培った高い飼養技術を生かし、味の良さにこだわった高品質な豚を育てる体制を確立した。味の決め手は、麦を主体にした専用飼料だ。信男会長は

「豚2頭から始め、がむしゃらにやってきた」と振り返る信男会長。70年から種豚の生産を中心とした経営を始めた。先輩養豚農家から学び、JAの指導を受けて飼養技術を磨いた。80年から5年連続で北海道種豚共進会のチャンピオン、84年に全日本種豚共進会で銅賞を獲得。87年にはホクレン指定種豚農場に認定された。



佐々木 勉 専務

佐々木 隆 社長

北海道の東端、オホーツク海に面し、世界遺産知床の雄大な自然で知られる斜里町に、餌と飼育環境にこだわった高品質の豚を育て、地域に愛される牧場がある。町内唯一の養豚農家の佐々木種畜牧場だ。餌は、麦類を30%配合した独自の飼料をJAしれとこ斜里・ホクレン・ホクレンくみあい飼料株式会社と協力して開発。肥育豚舎の豚房は、高さ30cmまで麦わらを敷き詰め、1頭当たりの空間も広く確保する。手塩にかけた豚は「サチク麦王」の名でブランド化。脂肪と肉の質の良さで幅広い世代に人気を得て、直営する精肉店と焼肉店には町内外からリピーターが訪れる。





## 精肉直売店



住所▶北海道斜里町字美咲69  
TEL▶0152-23-0429  
営業時間▶8:30~18:00  
定休日▶月曜日

## 豚匠SACHIKU



住所▶北海道斜里町本町37-1  
TEL▶0152-23-2985  
営業時間▶17:00~22:00  
定休日▶月曜日



脂肪が柔らかく、甘いと評判の「サチク麦王」

## サチク麦王 地域循環へのこだわり

### おいしさの秘密!

1.8㎡/頭で広々!  
麦わらのベッドは高さ30cm以上で  
ふかふか♪



豚舎



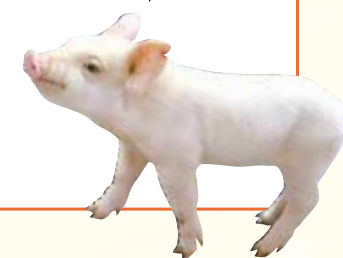
堆肥



畑作



麦わら



麦がおいしさの  
秘密だよ!

「特に、脂肪が白く、柔らかく、甘くなる」と利点を解説する。

2000年に「サチク赤豚」の名でブランド化に乗り出した。その後もJA・ホクレン・ホクレンくみあい飼料と飼料の改良を重ね、麦類30%の割合にたどり着いた。飼料の完成を受けて新ブランド「サチク麦王」を立ち上げ、14年に商標を登録。道内のスーパーや精肉店の他、斜里町のふるさと納税の返礼品などに販路を広げ、地元では贈答品の定番となっている。

ホクレン北見支所畜産生産課の成田広之係長は「これだけ麦を多く与える牧場は他にない」と話す。ただ、麦主体の飼料は増体に時間がかかるデメリットもある。広い豚房で豚がよく動くこともあり、出荷日数は平均190日と、一般的な農場と比べて長い。また、寝床とする麦わらの交換は手作業のため人手もかかる。

それでも、やり方は変えない。信男会長は「お客さんにおいておいしい豚肉を食べてもらいたい。効率のために味を妥協することはない」と言い切る。

ブランド戦略では、地元での評価を高めることを重視する。大きな役割を果たしているのが、直営する精肉直売店と焼肉店だ。牧場に併設する精肉直売店は1



たっぷりと麦わらが敷かれた豚房

### 多角経営の挑戦支える

#### JA・ホクレン・

#### ホクレンくみあい飼料との協力体制

地域に密着した循環型農業の実践へ、近隣農家との耕畜連携にも取り組む。自家製の豚ばん堆肥を提供し、寝床に使う年間300ha分の麦わらと交換。堆肥は敷地内に備えた約1300㎡の堆肥舎で、豚ばんと麦わらを混ぜ、切り返しながら2年間発酵させて作る。

JAしれとこ斜里農畜産課の泉寧典調査役は「地域は麦やジャガイモなどの畑作が盛ん。良質な堆肥を提供する同牧場は近隣の農家にとっても重要な存在」と評価する。

こだわりの飼育体制や多角経営への挑戦を支えるのが60年以上かけて築いてきたJAやホクレンとの協力体制だ。

信男会長は「種豚生産時代には、市場



麦を主体とした飼料

清潔さが保たれる豚舎



987年に開店。ホクレンから1頭ごとに肉を買い戻して販売する。オーダーカットにも対応し、リピーターを獲得。町の中心部から離れた立地にもかかわらず、1日約40人が訪れる。

焼肉店「豚匠SACHIKU」は、町の中心部のJR知床斜里駅近くで営業。薄切りのロースをさっと焼いて食べる「焼きしゃぶ」や、横隔膜周辺の「豚サガリ」などの希少部位を含む焼肉の他、「ポークグラタン」「ローストポークピザ」などの豚肉料理で、「サチク麦王」の食べ方を提案する。

来店客には、子どもにせがまれて来る家族が多いという。運営を担う隆社長は「子どもは味に正直なので『おいしい』と言ってもらえると自信になる」と手こたえを話す。

で高額な豚を買って資金繰りに苦しんだこともあった。未経験で精肉店や焼肉店を始めた時は、分からないことばかりだった。続けられたのは、JAとホクレン、ホクレンくみあい飼料のおかげだ」と振り返る。「良い時も悪い時も変わらず支えてくれる。他の業者に目移りすることなく、系統一本で迷わなかったことが今につながっている」と信頼を寄せる。

目下の課題は、年間通して安定した増体。夏場の増体を改善するため、2023年には豚舎の暑熱対策に換気設備を整えた。勉強会では「厳しい畜産情勢だが、これからもJA・ホクレンと変わらぬ協力体制で、おいしい『サチク麦王』の生産を維持していきたい」と展望する。



JA泉調査役(右)、ホクレン成田係長(中央右)と勉強会(左)、岩崎場長





校 名	
神奈川県立中央農業高等学校	
所在地	生徒数
神奈川県海老名市中新田 4-12-1	546名 (2023年4月1日時点)
創 立	
明治39 (1906) 年3月	
学 科	
園芸科学科、畜産科学科、農業総合科	



#### 特 徴

創立から120年近く経つ、歴史と伝統ある農業高校。県立高校の中でも広い敷地を有し、水田や圃場、牛舎、豚舎など、農業に関連する施設を豊富にそろえる。畜産科学科では、家畜の生態や、飼養管理の方法、ヨーグルトやベーコンといった加工品の製造技術などを学ぶ。1、2年時に基礎を学び、3年時には自ら決めたテーマで研究する。

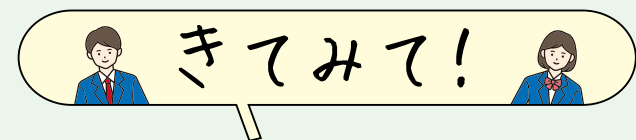
やる気や根性が伸びやかに育つ校風

中央農業高校は県内では唯一、農業科だけを設けている。同校の特色について、畜産科学科の小笠原直樹先生は「生徒は、農業を志している点で共通しています。そのため、学校全体に統一感がありますし、生徒が互いに高め合える環境も整っています。根性があり、ガッツのある生徒がたくさんいます」と話す。

「動物が好きで、この学校への入学を決めました。実習も多いので、毎日が楽しいです」と笑顔で語ったのは、生徒の1人。夏休みなどの長期休暇にも、牛を世話するために

牛舎に通うが、「牛が大好きなので大変とは感じません」と続ける。

同校には、生徒のやる気やガッツを受け止め、伸ばす風土もある。生徒の発案を最大限尊重し、採用する。例えば、牛が常食する粗飼料。近年の餌代の高騰を受け、年間を通して粗飼料を自給できないかと生徒が考えた。関東地方では珍しい「ローズグラス」は温暖な気候に適している牧草だが、温暖化を受けて同校でも栽培できるのではないかと挑戦した。現在はイタリアンライグラスやライ麦、エンバクなどを試験栽培しながら、通年で粗飼料を自給する方法を模索しているという。



## うちの学校

### 神奈川県立中央農業高等学校

「地域から愛される学校」を目指す神奈川県立中央農業高等学校。農福連携の活動や地域住民を対象にした酪農体験など、地域を巻き込んだ取り組みを活発に行う。都市部に近いからこそ、生徒は地域とのかかわりを大切にしている。

1月の「第7回和牛甲子園」の取組評価部門では、地域を視点にした取り組みが評価され、優秀賞に輝いた。

牛と地域と向き合う生徒の挑戦を追った。





## 希少種の育成に取り組む

複数の和種の中から  
推し牛々を見つける住民も

約8年前から和牛の肥育も始めた。現在、肉牛は黒毛和種と褐毛和種、無角和種、そして日本短角種の交雑牛がいる。小笠原先生は、「無角和種は、全国に200頭ほどしかない貴重な肉牛。また、肉牛だけで4種類も飼養している農業高校は、全国的に見ても珍しいはず」と胸を張る。「神奈川県のような都市化が進んでいる県では、畜産と関わりをもたない人が大多数を占めます。地域の方々に畜産を知ってもらうべく、さまざまな和種をそろえたい」と理由を話す。そうした地道な取り組みが実を結び、生徒だけでなく、近隣住民の中にも自分の「推し牛」を決める人がいるそう。

さらに同校では、黒毛和種と褐毛和種、日本短角種を交雑した「三元牛」を飼養。純血種と比較しながら、「三元牛」の暑さや病気への抵抗力、適切な肥育期間などを調べている。生徒の一人は、「『三元牛』がどのように育ち、どのようなお肉になるのか全く想像が付きませんが、今後が楽しみです」と、期待を込めて語った。



## 将来を見据え、先端技術を学ぶ

酪農体験などを通して  
地域との信頼関係を形成

乳牛は現在、ホルスタイン種、ジャージー種、ブラウンスイス種が用いた体験イベント「酪農教育ファーム」を開催している。「地域の人の酪農を知ってもらいたい」という生徒の発案で始まったイベントだ。地域住民を学校の牛舎に招き、乳搾り体験などを提供している。「住宅街が近いと臭気クレームが寄せられてしまうのですが、『酪農教育ファーム』を開催するようになってから、クレームは無くなりました」（小笠原先生）

また、牛舎には搾乳ロボットや餌寄せロボットなどが導入されており、先端技術や自動化された飼養管理を学ぶ。小笠原先生は「大規模酪農家に就農する生徒もいるため、最新の管理を学ばせたいと思い、導入を決めました」と話す。

搾乳ロボットを操作していた生徒は「1年の頃は操作パネルに知らない表示が出て焦ったこともありましたが、今は使いこなせるようになりました」と感慨深げに話す。生徒の吸収力の高さに、小笠原先生も驚かされるそう。



### セールスポイント

「農福連携」に力を入れています。近くにある特別支援学校との共同学習も実施。昨年度は、両校の生徒がともに牛舎での作業や米作り、うつわ作りなどに取り組みました。「障がいのある方々と畜産現場で働くうえで必要なケアについて、知る機会となりました」と、小笠原先生。



牛の飼養管理について話を聞く  
特別支援学校の生徒ら



一緒に作った  
平皿で牛肉を試食

来年度の  
和牛甲子園も  
楽しみです。  
研究など  
頑張ります！

### 飼育のこだわり



ブラウンスイス種のオス

モリモリ食べます



ブラウンスイス種のオスは、肉量がありとれないことから、ほとんど市場に出ることはない。しかし同校は、昨年11月に学校で生まれたオスを現在、肉牛として飼養している。この取り組みは、「ブラウンスイス種の肉牛を一般的にしたい」という生徒の発案によるもの。地域で出る廃棄食材などを与えながら、良質な肉牛に育てる計画が進行中だ。

ガッツのある生徒が  
多いです！



小笠原直樹先生



## 和牛の部・最優秀賞

兵庫県 ハニニューファーム(株)

小谷清隆取締役

牛の食欲や寝姿などを毎日何度も見回り観察して健康体を維持することを心がけています。受賞牛は宮崎から導入した増体系の牛で、出荷時ははちきれんばかりの体形でした。枝肉はロース芯が大きく肉の照りも良く、思い描いた以上に良く仕上がりました。肥育頭数は300頭で、素牛は宮崎、鹿児島と地元の但馬牛を導入しています。神戸牛としての出荷は全体の1割程度で、ふだんは地元市場に出荷していますが、また大阪に出荷したいと思います。



## 交雑種の部・最優秀賞

徳島県 (株)ファームありがとう

村部烈雄代表

出荷前の体形を見て歩留まりが良さそうだと感じていましたが、まさか最優秀賞をいただけたと思っていなかったのでも驚いています。父の代からですが、10年ほど前から餌に飼料用米を使い始めました。なんとかノウハウができてきて、枝肉成績に反映できるようになってきたと感じています。近年は輸入飼料の高騰が続いているので、飼養コストを低減するためできるかぎり自給飼料や地元産の餌を活用して良い牛を育てていきたいです。



## 第43回 全農肉牛枝肉共励会 入賞牛一覧表

## 和牛の部

区分	出品県	出品者名	導入産地	出荷月齢	血統			枝肉重量(kg)	歩留基準値	規格	ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ(cm)	BMS No.	枝肉単価(円)
					父	母の父	母の祖父							
最優秀賞	兵庫県	ハニニューファーム(株)	宮崎県	31	耕富士	美国桜	勝忠平	572.6	80.5	A5	112	9.7	12	4,129
優秀賞1席	山口県	(有)岩国ファーム	広島県	29	福之姫	安福久	安茂勝	594.2	81.7	A5	111	9.8	12	2,920
優秀賞2席	鹿児島県	(有)うしの中山	鹿児島県	29	若百合	美国桜	平茂勝	610.6	78.9	A5	99	9.8	12	3,030
優秀賞3席	佐賀県	池田徳浩	大分県	29	安亀忠	隆之国	安福久	552.4	79.9	A5	101	8.5	12	2,858
優良賞1席	熊本県	(株)佐々畜産	熊本県	29	福之姫	安福久	平茂勝	560.6	81.3	A5	106	9.6	12	2,813
優良賞2席	鹿児島県	(有)ダイユー第1農場	鹿児島県	30	秀幸福	安福久	勝忠平	541.4	81.1	A5	107	9.7	12	2,753
優良賞3席	長野県	長野アグリランド松本農場	長野県	27	茂晴花	聖香藤	美津照重	588.2	77.8	A5	96	9.4	12	2,810
優良賞4席	山口県	(有)岩国ファーム	広島県	29	福之姫	百合茂	安福久	586.2	80.1	A5	102	9.8	12	2,709

## 交雑牛の部

区分	出品県	出品者名	導入産地	出荷月齢	血統			枝肉重量(kg)	歩留基準値	規格	ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ(cm)	BMS No.	枝肉単価(円)
					父	母の父	母の祖父							
最優秀賞	徳島県	(株)ファームありがとう	徳島県	24	福之姫	—	—	610	70.2	B5	60	8.8	11	2,002
優秀賞	徳島県	ノースバレー(株)	千葉県	24	北美津久	—	—	535.2	71.2	B5	65	8	8	2,000
優良賞	北海道	(株)十勝緑陽牧場	北海道	23	北美津久	—	—	536.6	72.8	A5	72	8.5	8	1,715



# 第43回全農肉牛枝肉共励会 和牛ハニニューファーム(兵庫県)が 最優秀賞

J A全農は2月2日、大阪市中央卸売市場南港市場で第43回全農肉牛枝肉共励会を開催した。13道県から和牛95頭、交雑牛27頭が出品され、和牛の部で兵庫県のハニニューファーム(株)が出品した去勢牛が最優秀賞に輝いた。交雑牛は徳島県の(株)ファームありがとうの去勢牛が最優秀賞を獲得した。

## 和牛の部・最優秀賞

## 歩留良い枝肉そろそろ

## 肉の光沢、脂肪の質抜群

和牛は去勢83頭、雌12頭が出品され、すべてA等級だった。去勢は歩留基準値75以上が70・5%を占め、平均が77・3と全国平均(75・4)を1・9ポイント上回った。ロース芯面積は100cm<sup>2</sup>超が全体の17・9%に上り、「特筆すべき結果」と評価された。

審査委員長の日本食肉格付協会的小林淳二専務は、「近年は購買者が歩留基準値を重視している」とした上で、生産者やJA関係者に対し「歩留基準値は去勢で70台後半を目標に」と呼びかけた。最優秀賞の枝肉の血統は父「耕富士」、母の父「美国桜」、母の祖父「勝忠平」。ロース芯面積112cm<sup>2</sup>、バラの厚さ9・

7cmと充実し、歩留基準値は80・5と極めて高かった。審査では「体形が厚く、前・後躯のバランスが良く、脂肪交雑は申し分なく、特に肉の光沢、脂肪の質が抜群」と満票での選出となった。

## 枝肉重量(kg)

雌496・3 / 去勢550・4

ロース芯面積(cm<sup>2</sup>)

雌83・3 / 去勢84・5

## バラの厚さ(cm)

雌8・7 / 去勢8・9

## 交雑牛の部・最優秀賞

全般で脂肪交雑に優れる  
和牛に匹敵する肉質

交雑種は去勢14頭、雌13頭が出品された。全体として、去勢、雌ともに枝肉重量とロース芯面積が全国平均を上回る

## 枝肉重量(kg)

雌541・5 / 去勢565・7

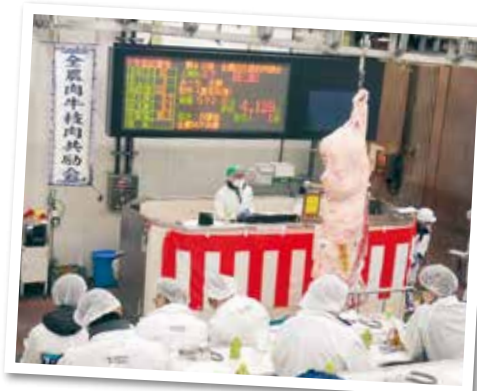
ロース芯面積(cm<sup>2</sup>)

雌63・2 / 去勢57・4

## バラの厚さ(cm)

雌8・1 / 去勢7・3

好成绩で、脂肪交雑の度合いを示すBMS No.は去勢が平均5・7、雌が6・8と、それぞれ全国平均を1・7ポイント、2・7ポイント上回る高水準だった。最優秀賞の枝肉の血統は、父が「福之姫」。ロース芯面積60cm<sup>2</sup>、バラ厚8・8cmと充実しており、肉質はBMS No. 11、BCS No. 3と、和牛に匹敵する細かな脂肪交雑で、「十分すぎるほどまんべんなく交雑し、特に肉の光沢、脂肪の質に優れていた」(日格協・小林専務理事)と高い評価を得た。



今共励会で最高値を出したハニニューファームの枝肉





## 第41回全農酪農経営体験発表会

# 酪農の“未来を創る”ため、 優良事例を共有

酪農経営の優良事例を発表する「全農酪農経営体験発表会」。41回目の今回は、全国5組の優れた酪農家と酪農家を支える組織が、日頃の取り組みを発表。厳しい酪農環境を業界一丸で乗り越えていくための方策を探った。

同発表会は、JA全農酪農部が主催。これまでは地域のモデルとなる酪農家の優良経営事例を表彰してきたが、今年度は酪農家と酪農家を支える組織の優良事例を発表する場へと変化した。副題の「未来を創る 酪農のなかま」には、酪農に関わる多くの人と明るい未来をつくっていくことの想いを込めた。

JA全農の齊藤良樹常務理事は、記録的な猛暑、生産コストの高止まりや子牛相場下落等の厳しい情勢に触れ、JAグループとして配合飼料安

定基金の堅持や自給飼料の利用拡大に取り組むことを強調。需給拡大に向け、『牛乳でスマイルプロジェクト』などによる消費者の理解醸成、市場の活性化等に加え、生産基盤を維持するためにも業界が一体となって取り組んでいきたい」と力強く話した。審査講評では、審査委員長の日本獣医生命科学大学・小澤壮行教授が「先駆的な取り組みが多く、私たち審査員も学びがあった。発表から得られたものは少なくないと確信している」と話した。



JA全農  
常務理事  
齊藤 良樹



審査委員長  
日本獣医  
生命科学大学 教授  
小澤 壮行

## 北海道



JAひがし宗谷  
営農部  
石黒 敦

## 家畜個体識別をキーとした 「家畜統合管理システム」の取り組みについて

JAひがし宗谷では、個体識別情報を核として、酪農支援組織や団体が所有する各種データを統合し、一元管理できる「家畜統合管理システム」をクラウド環境に構築した。システムの活用で授精申請の手配漏れ等を防ぎ、初回受胎率が5%向上。生乳生産成績もリアルタイムで確認できるため、成績不振時の外的要因も特定しやすくなり、営農指導にも役立っている。

## 講 評

組織の壁の中に隠され、いわば分断されていたデータを統合し、クラウド上で運用している本取り組みは、先駆的で高く評価できる。

発表はこちら



## 岩手県

## 酪農ヘルパーの人材確保に向けて ～職業認知度向上のための岩手県の取り組み～



全農岩手県本部  
畜産酪農部酪農課  
奥平 真生



葛巻町酪農ヘルパー  
利用組合  
チーフ  
木戸場 真紀子

岩手県では、酪農ヘルパーの人材不足が深刻な課題となっている。以前は就農希望者がヘルパーで経験を積んだが、近年では会社化している牧場に就職する人が増えてきたことなどが要因だ。岩手県本部では酪農ヘルパーの認知度向上を目指して、酪農ヘルパーのHPやCM、つなぎ等を制作。就活イベントにも参加し、インターンの受け入れを積極的に行ったことで5名の採用が実現した。

## 講 評

酪農ヘルパーを新しい職業という位置付けで広報活動を展開している点がユニークであり、他の地域の参考にもなる取り組みだ。

発表はこちら



## 神奈川県

## 「地元で酪農経営をしたい」 神奈川県初の新規参入・第三者継承の道のり



神奈川県  
畜産技術センター  
企画指導部  
普及指導課長  
仲澤 慶紀



リトルリバーファーム  
小川 翔吾

地元での就業を目指し、第三者継承で新規参入したリトルリバーファームの小川翔吾さん。県で前例のなかった第三者継承に向け、神奈川県畜産技術センターが中心となり、秦野市、市農業委員会、JAはだの、公庫が連携して「酪農事業継承会議」を設置。課題を洗い出し、継承希望者、移譲希望者、関係機関の全員が納得できるようにサポートした。

## 講 評

行政が継承に積極的に関わり、解決の道を拓いた。今回のケースは他の都府県における酪農新規参入でもおおいに参考になり、導入すべきシステムだ。

発表はこちら



## 宮崎県

## 地域酪農を支える預託牧場 ～生産者と一体となった理想の酪農組織を目指して～



宮崎県酪農公社  
今井 弘高



上原牧場  
上原 和博

宮崎県酪農公社では、預託牧場を運営する他、自給飼料約1,000tをTMR飼料にして供給し、県内酪農家を支えている。預託期間は生後1カ月～分娩2カ月前までで、飼養頭数は906頭（令和5年3月末時点）。事故が起きた場合でも代替牛が共済金のいずれかを選ぶことができる。上原牧場は預託事業を活用して、省力化や初期投資の抑制を実現し、経営改善につながった。

## 講 評

3部門（乳用牛、肉用牛、飼料生産）の導入は経営リスクの回避はもとより、新たな収益部門の形成という点でも高く評価できる。加えて、代替牛を提供するシステムは素晴らしい。

発表はこちら



## 島根県

## 地域に開かれた酪農経営 ～200年後も残る牧場を目指して～



ダムの見える牧場  
大石 亘太

大石亘太さんは木次乳業の新規就農者支援事業に応募し、牧場用地取得、牧場研修、中古設備調達のための情報連携等の支援を受け、2014年に就農した。「牧歌的な酪農」を目指し、放牧を取り入れた酪農を実践。竹林を焼き畑で放牧地に変える環境保全の取り組みの他、教育ファームやバターづくり体験等、子ども達の酪農理解の醸成や観光資源の創出にも取り組んでいる。

## 講 評

地元乳業メーカーを核とする担い手確保、育成が見事に結実している好事例。地元観光協会や大学との取り組みに大石さんの人柄が表れている。

発表はこちら



## 第17回全農学生「酪農の夢」コンクール・発表会特別企画



第17回全農学生「酪農の夢」コンクール表彰式も同時開催された。本年度は159作品の応募があり、前回の1.5倍に増加した。審査委員で龍谷大学農学部 淡路和則教授は「多くの作品から酪農を維持・発展させていきたいという想いを感じられた。酪農コンクールで勝ち抜いたというより、酪農を支えたい159人の代表だ」と話した。

最優秀賞には静岡県立藤枝北高等学校の半田花楓さんの「牛ロスから考えること」が輝いた。優秀賞は中国四国酪農大学の本部琴海さん、北海道釧路高校

の小泉天花さん、栃木県立那須拓陽高校の和田蓮音さんが選ばれた。

表彰後に行われた酪農家・学生・指導教員による座談会では、酪農という職業のやりがいや喜び、消費拡大に向けた取り組みについて意見を交わした。

特別企画として、第35回の体験発表会で優秀賞・特別賞を受賞した富澤裕敏さん（群馬県・富澤牧場）と、全農酪農部の酪農理解醸成イベントに協力している北出愛さん（北海道・山岸牧場）が登場し、特別講演を行った。

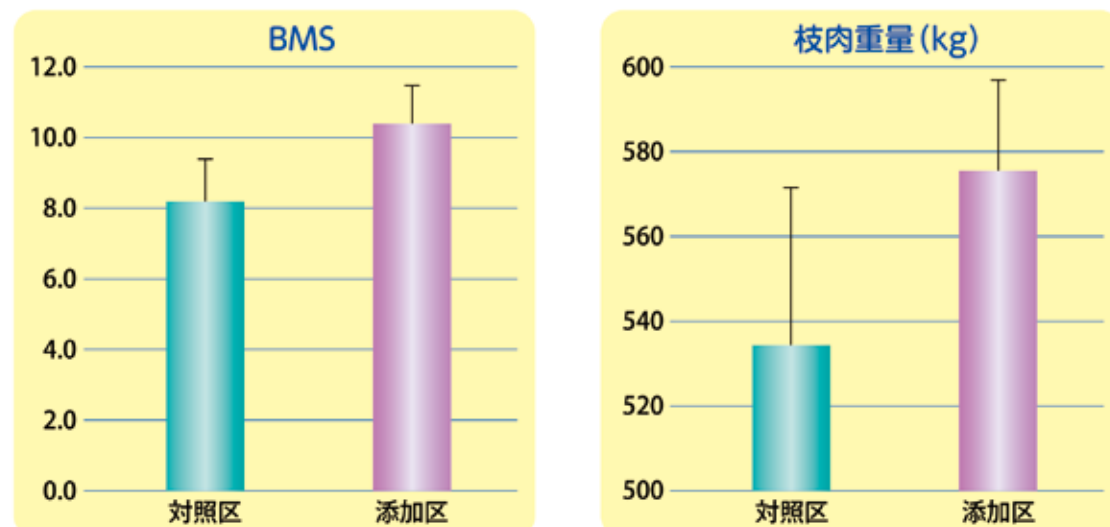




特許を  
取得  
しました

- 特許第 7357375 号 短距離輸送後の牛の枝肉成績向上方法及び増体方法
  - 特許第 7271004 号 長距離輸送後の牛の枝肉成績向上方法
  - 特許第 7268908 号 短距離輸送後の牛の肉成績向上方法 (2023)
- その他にも特許出願中

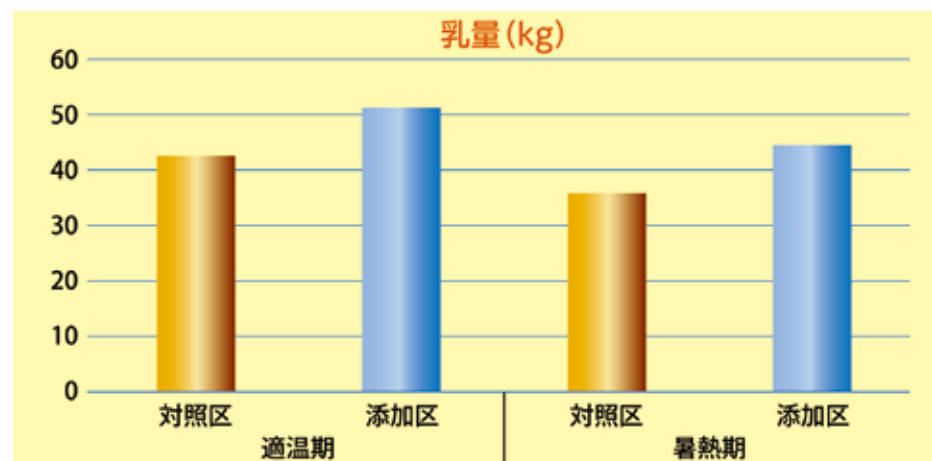
長距離輸送により、不足する栄養素を輸送前から輸送後にかけて補給。



肉用牛において輸送による枝肉重量や BMS 肉用の低下を低減。

特許  
出願中

搾乳牛において、乾乳期から不足する栄養素を給与。



搾乳牛における移行期や暑熱期におきやすい乳量への悪影響を低減。

<含有する飼料添加物>

ナイアシン、リジン、メチオニン、塩化コリン、ビタミン E

<原材料名>

米ぬか油かす



株式会社 科学飼料研究所

<https://www.kashiken.co.jp/>

動薬部 〒370-1202 群馬県高崎市宮原町 3-5  
TEL.027-347-3223 FAX.027-347-4577

札幌事業所  
東日本事業所  
東北駐在  
西日本事業所  
北九州駐在

TEL.011-214-3656  
TEL.027-346-9091  
TEL.019-637-6050  
TEL.099-482-3044  
TEL.096-294-8322

ビタミン・アミノ酸入り混合飼料

A飼料

# はつらつモウラック

20kg

様々な環境で頑張る牛たちをはつらつと  
品種や発育段階を  
選ばずお使い  
いただけます

●日々の  
些細な  
環境変化にも  
対応

●不足  
しがちなビタミン  
・アミノ酸を配合

●ストレスにより  
不足する  
ビタミン・  
アミノ酸を補給

●肉牛や乳牛、  
子牛にも。  
発育段階を  
選びません。

輸送 分娩 離乳

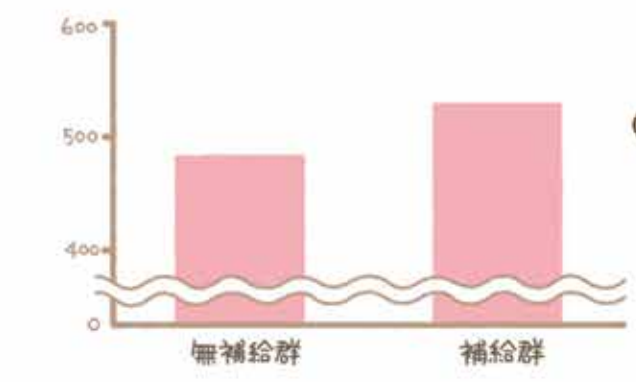
様々なストレスは  
牛の増体や枝肉成績、  
乳量にも影響を及ぼします

推 奨 給 与 量

子牛	20g/日	哺乳期間中
育成牛	50g/日	輸送前から
肥育牛	80g/日	輸送後 30 日間
乳牛	100g/日	分娩前後 4 週間

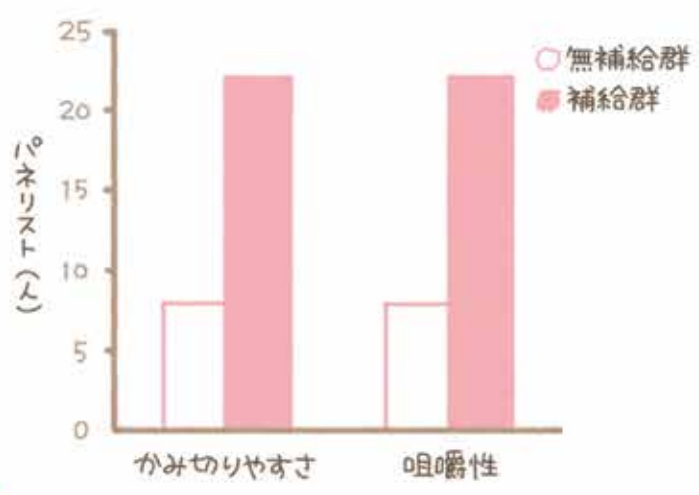


特許を取得しました（特許第7387183号 牛の肉質の軟化方法）（2023）



混合飼料給与により  
**枝肉重量が増加!**

歩留まりが良く  
大きい肉量が期待できます!



やわらかくて、  
**食べやすい肉に!**



嗜好型官能評価において、  
混合飼料を給与した牛肉のほうが  
かみ切りやすく、咀嚼性に優れました。

飼料の種類	コエンザイムQ10入り混合飼料		
正味重量	20kg	対象家畜	牛
標準的な使用量	1日1頭当たり50gを給与する		
標準的な給与期間	出荷前14ヶ月間		
含有する飼料添加物の名称	ビタミンE		
原材料名	米ぬか油かす、トレハロース、酵母由来コエンザイムQ10		

 **株式会社 科学飼料研究所**  
<https://www.kashiken.co.jp>  
動薬部 〒370-1202 群馬県高崎市宮原町3-5  
TEL. 027-347-3223  
FAX 027-347-4577

札幌事業所 TEL. 011-214-3656  
東日本事業所 TEL. 027-346-9091  
東北駐在 TEL. 019-637-6050  
西日本事業所 TEL. 099-482-3044  
北九州駐在 TEL. 096-294-8322

コエンザイムQ10入り混合飼料

# やあらか3Q

肉の量と質、どちらにもこだわる



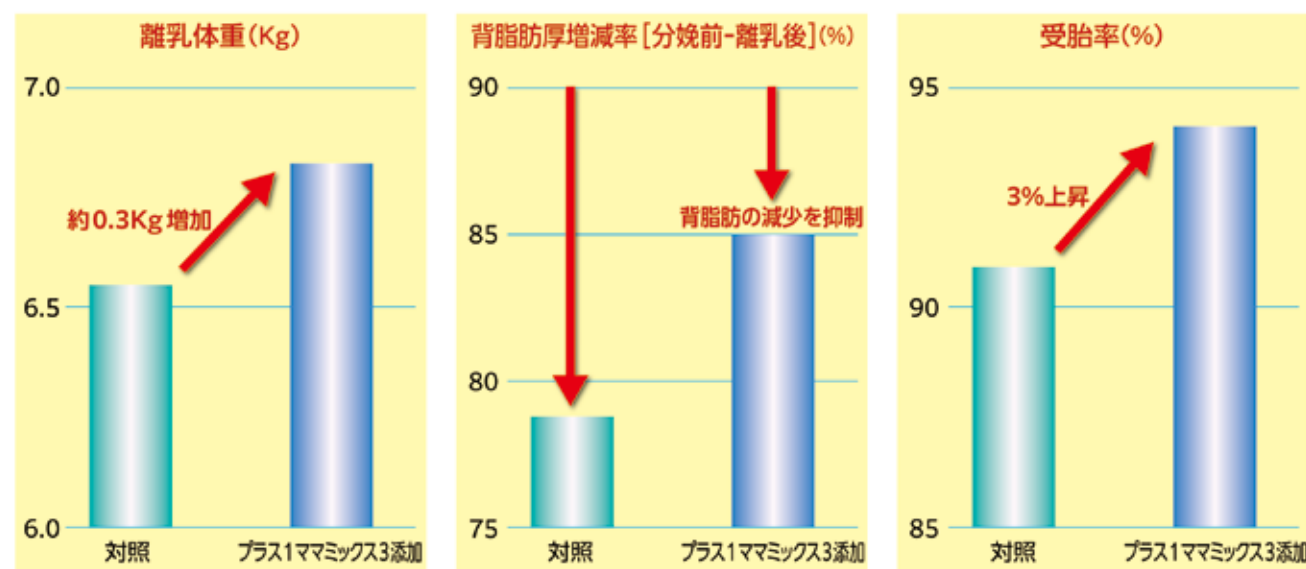


# プラス1ママミックス3の特長

- 母豚のためのアミノ酸をプラス
- 粉末化した植物性油脂を中心に配合し、  
更に利用しやすいエネルギーになりました
- ストレスの多い授乳期母豚のために、  
抗酸化物質(ビタミンE、コエンザイムQ10等)を使用しています
- 消化酵素でパフォーマンスアップ

## 試験データ

JA全農 飼料畜産中央研究所・共同開発



夏場のサプリメント給与により、子豚離乳体重の増加・  
母豚の背脂肪の減少抑制等が確認されました

### 【標準的な使用量】

1日1頭あたり100gを給与する

### 【含有する飼料添加物の名称及び量】

ビタミンE、コリン、リジン、トリプトファン、トレオニン、メチオニン、L-パリン、  
たん白質分解酵素、でんぷん分解酵素、β-グルカナーゼ、フィターゼ、繊維分解酵素、  
着香料、BHT(0.006615%)

### 【原材料名】

パーム油、米ぬか油かす、炭酸カルシウム、大豆レシチン、無水ケイ酸、乳酸、  
酵母由来コエンザイムQ10



注意

- ①開封後、なるべく早く使ってください。
- ②日陰で、風通しのよい乾燥した場所に保管し、開封後は遮光した密閉容器に保存してください。
- ③対象家畜、使用量を必ず守ってください。

豚用授乳期  
サプリメント

母豚の味方 プラス1

10kg袋

〈ビタミン・アミノ酸・消化酵素入り混合飼料〉

# プラス1ママミックス3



夏場の子豚、もりもり太れ！  
更にエネルギーとして使いやすくなりました

給与量 授乳期用飼料に1日当たり50～100g添加

製造販売元



株式会社 科学飼料研究所

<https://www.kashiken.co.jp/>

動薬部

〒370-1202 群馬県高崎市宮原町 3-5  
TEL.027-347-3223 FAX.027-347-4577

札幌事業所	TEL.011-214-3656
東日本事業所	TEL.027-346-9091
東北駐在	TEL.019-637-6050
西日本事業所	TEL.099-482-3044
北九州駐在	TEL.096-294-8322



# 和牛枝肉共励会・子牛市場情報



## 和牛枝肉共励会情報

表の見方: ①各共励会の受賞牛の上位2位を掲載。②順位がない場合は、単価上位2位を掲載。③平均値は全体成績の平均。

血統			種	性	出荷体重 (kg)	枝肉重量 (kg)	枝肉歩留	単価 (円)	格付	歩留等級		肉質等級	販売価格(円)
父	母の父	母の祖父								ロース芯面積 (cm)	バラの厚さ (cm)	BMS No.	

◎令和6年1月23日(東京食肉市場) 岩手県・第34回「いわて牛」枝肉共励会 (和牛去勢47頭、雌18頭 合計65頭出品)													
隆安国	幸紀雄	－	和	去勢	820	557	67.9	5,004	A5	92	10.8	12	2,787,228
茂晴花	安福久	－	和	去勢	885	606	68.5	3,188	A5	109	9.0	12	1,931,928
(平均値)					(818.5)	(542.6)	(66.2)	(2,615)		(82.6)	(9.0)	(10.6)	(1,417,311)

◎令和6年1月26日(東京食肉市場) 栃木県・第12回JA東日本くみあい飼料(株)「とちぎ和牛」枝肉研究会 (和牛去勢39頭出品)													
美津照重	百合茂	安福久	和	去勢	－	671	－	4,008	A5	95	9.6	12	2,689,368
久茂福	美国桜	安茂勝	和	去勢	－	508	－	2,947	A5	83	9.7	12	1,497,076
(平均値)					－	(580.6)	－	(2,474)		(82.3)	(9.1)	(9.9)	(1,445,074)

◎令和6年1月26日(東京食肉市場) 全農・令和5年度女性経営者枝肉勉強会 (和牛去勢5頭、雌11頭 合計16頭出品)													
諒太郎	安福久	百合茂	和	雌	－	492	－	2,851	A5	74	7.5	12	1,402,692
若百合	安福久	勝忠平	和	去勢	－	641	－	2,916	A5	107	10.8	12	1,869,156
(平均値)					－	(525.8)	－	(2,420)		(80.3)	(8.4)	(9.4)	(1,274,632)

◎令和6年2月1日(東京食肉市場) 岩手県・第18回JA新しいわて女性部枝肉研究会 (和牛去勢15頭、雌9頭 合計24頭出品)													
美国桜	諒太郎	－	和	去勢	836	569	68.1	3,001	A5	107	9.7	12	1,707,569
紀多福	美国桜	－	和	去勢	845	582	68.9	2,802	A5	112	11.1	12	1,630,764
(平均値)					(761.2)	(498.0)	(65.3)	(2,401)		(71.7)	(8.6)	(9.8)	(1,203,617)

◎令和6年2月1日(東京食肉市場) 宮城県・令和5年度第3回仙南肉牛研究会枝肉共進会 (和牛去勢21頭、雌3頭 合計24頭出品)													
勝早桜5	安福久	第1花国	和	去勢	－	560	－	2,768	A5	83	9.0	12	1,550,080
福之姫	百合茂	安福久	和	去勢	－	554	－	2,833	A5	108	9.2	12	1,569,482
(平均値)					－	(529.1)	－	(2,436)		(79.3)	(8.8)	(9.8)	(1,290,285)

◎令和6年2月6日(東京食肉市場) 栃木県・～栃木生まれ栃木育ち～特産「とちぎ和牛」JAなす南和牛枝肉研究会 (和牛去勢18頭、雌6頭 合計24頭出品)													
勝乃幸	安福久	平茂勝	和	去勢	－	561	－	3,007	A5	90	10.3	12	1,686,927
勝乃幸	美国桜	安福久	和	去勢	－	548	－	2,706	A5	85	10.4	12	1,482,888
(平均値)					－	(528.2)	－	(2,339)		(75.5)	(9.0)	(8.8)	(1,249,893)

◎令和6年2月7日(東京食肉市場) 栃木県・第158回JAなすの肥育牛部会和牛枝肉研究会 (和牛去勢27頭、雌1頭 合計28頭出品)													
諒太郎	安福久	百合茂	和	去勢	－	591	－	3,000	A5	101	10.2	12	1,773,000
聖香藤	福之姫	安福久	和	去勢	－	517	－	2,805	A5	82	10.3	11	1,450,185
(平均値)					－	(566.9)	－	(2,399)		(77.9)	(9.2)	(9.1)	(1,357,609)

◎令和6年2月9日(東京食肉市場) 新潟県・令和5年度村上牛枝肉共励会 (和牛去勢22頭、雌2頭 合計24頭出品)													
福之姫	安福久	百合茂	和	去勢	－	536	－	3,096	A5	84	9.6	12	1,659,456
若百合	美津照重	勝忠平	和	雌	－	443	－	3,004	A5	75	7.7	11	1,330,772
(平均値)					－	(524.1)	－	(2,677)		(70.8)	(8.7)	(7.9)	(1,403,121)

◎令和6年2月14日(東京食肉市場) 青森県・令和5年度三県合同枝肉研究会(宮城・青森・新潟) (和牛去勢7頭、雌5頭 合計12頭出品)													
愛之国	美国桜	直太郎	和	去勢	－	529	－	2,735	A5	96	9.8	12	1,446,815
福之姫	勝忠平	第1花国	和	去勢	－	491	－	2,882	A5	72	9.6	11	1,415,062
(平均値)					－	(483.2)	－	(2,309)		(67.5)	(8.4)	(8.1)	(1,115,954)

◎令和6年2月14日(東京食肉市場) 宮城県・令和5年度三県合同枝肉研究会(宮城・青森・新潟) (和牛去勢10頭、雌2頭 合計12頭出品)													
茂福久	諒太郎	安福久	和	去勢	－	553	－	2,820	A5	98	9.5	12	1,559,460
百合白清2	茂晴花	安福久	和	去勢	－	510	－	2,766	A5	75	9.0	12	1,410,660
(平均値)					－	(496.3)	－	(2,414)		(70.3)	(8.4)	(10.4)	(1,200,783)

◎令和6年2月14日(東京食肉市場) 新潟県・令和5年度三県合同枝肉研究会(宮城・青森・新潟) (和牛去勢11頭、雌1頭 合計12頭出品)													
紀多福	美津照重	安福久	和	去勢	－	430	－	2,832	A5	71	6.8	12	1,217,760
美津照重	百合茂	安福久	和	去勢	－	542	－	2,788	A5	74	9.3	12	1,511,096
(平均値)					－	(479.5)	－	(2,589)		(63.6)	(8.1)	(8.3)	(1,242,435)

◎令和6年2月15日(東京食肉市場) 栃木県・第3回JAかみつが・しもつけ和牛枝肉研究会 (和牛去勢27頭、雌3頭 合計30頭出品)													
福之姫	芳之国	百合茂	和	去勢	870	593	68.2	3,220	A5	91	10.3	12	1,909,460
茂久桜	隆安国	百合茂	和	雌	785	516	65.7	2,766	A5	77	8.3	11	1,427,256
(平均値)					(868.6)	(576.9)	(66.7)	(2,349)		(78.6)	(9.1)	(8.7)	(1,356,286)

◎令和6年2月16日(東京食肉市場) 栃木県・第17回JAうつのみや肥育牛部会枝肉研究会 (和牛去勢24頭、雌3頭、F1去勢8頭、雌1頭 合計36頭出品)													
愛之国	諒太郎	安福久	和	去勢	－	602	－	2,861	A5	110	10.4	12	1,722,322
美津照重	美国桜	百合茂	和	去勢	－	504	－	2,702	A5	73	9.6	12	1,361,808
(平均値)					－	(564.8)	－	(2,124)		(73.3)	(8.7)	(8.2)	(1,190,971)

血統			種	性	出荷体重 (kg)	枝肉重量 (kg)	枝肉歩留	単価 (円)	格付	歩留等級		肉質等級	販売価格(円)
父	母の父	母の祖父								ロース芯面積 (cm)	バラの厚さ (cm)	BMS No.	

◎令和6年2月16日(東京食肉市場) 茨城県・全農茨城県本部常陸牛枝肉研究会 (和牛去勢18頭、雌3頭 合計21頭出品)													
美国桜	安福久	幸紀雄	和	去勢	－	615	－	2,854	A5	106	10.9	12	1,755,210
塙安福	安福久	百合茂	和	去勢	－	525	－	2,818	A5	90	8.7	12	1,479,450
(平均値)					－	(543.9)	－	(2,300)		(71.5)	(8.8)	(8.9)	(1,250,450)

◎令和6年2月20日(東京食肉市場) 栃木県・第58回JAおやま肉牛枝肉研究会 (和牛去勢17頭、雌7頭 合計24頭出品)													
福大勝	美国桜	百合茂	和	去勢	－	653	－	3,251	A5	102	10.3	12	2,122,903
芳之国	安福久	勝忠平	和	去勢	840	575	68.5	2,764	A5	92	9.3	11	1,589,300
(平均値)					(778.9)	(521.4)	(66.4)	(2,370)		(72.9)	(8.6)	(8.8)	(1,242,789)

◎令和6年2月22日(東京食肉市場) 宮城県・令和5年度JAみやぎ登米肉牛部会「仙台牛」枝肉研究会 (和牛去勢28頭、雌8頭 合計36頭出品)													
若百合	安福久	百合茂	和	去勢	860	567	65.9	3,336	A5	96	10.2	12	1,891,512
茂福久	幸紀雄	安福久	和	去勢	920	611	66.4	3,117	A5	124	9.5	12	1,904,487
(平均値)					(864.7)	(568.5)	(65.7)	(2,750)		(86.6)	(9.3)	(11.0)	(1,570,393)

◎令和6年3月1日(東京食肉市場) 宮城県・JA古川肉牛部会第22回肉牛枝肉研究会 (和牛去勢17頭、雌7頭 合計24頭出品)													
茂福久	聖香藤	美国桜	和	去勢	－	625	－	3,111	A5	118	9.3	12	1,944,375
好久勝	福華1	安福久	和	雌	－	432	－	3,105	A5	76	7.8	11	1,341,360
(平均値)					－	(541.5)	－	(2,589)		(80.1)	(8.8)	(9.7)	(1,401,799)

◎令和6年3月1日(東京食肉市場) 栃木県・第159回JAなすの肥育牛部会和牛枝肉研究会 (和牛去勢25頭出品)													
若百合	安福久	平茂勝	和	去勢	－	622	－	3,314	A5	93	9.2	12	2,061,308
美国白清	百合茂	安福久	和	去勢	－	626	－	2,914	A5	107	10.5	11	1,824,164
(平均値)					－	(586.1)	－	(2,534)		(81.9)	(9.0)	(9.4)	(1,487,413)

◎令和6年3月5日(東京食肉市場) 岩手県・第21回いわて南牛枝肉研究会 (和牛去勢18頭、雌6頭 合計24頭出品)													
聖香藤	美国桜	－	和	去勢	782	518	66.2	3,058	A5	90	8.3	12	1,584,044
隆安国	勝忠平	－	和	去勢	868	580	66.8	2,812	A5	94	8.5	11	1,630,960
(平均値)					(804.0)	(528.0)	(65.6)	(2,524)		(78.8)	(8.1)	(9.5)	(1,336,871)

◎令和6年3月5日(東京食肉市場) 栃木県・第59回JAおやま肉牛枝肉研究会 (和牛去勢23頭、雌1頭 合計24頭出品)													
幸紀雄	安福久	平茂勝	和	去勢	850	585	68.8	2,952	A5	102	10.6	12	1,726,920
若百合	諒太郎	北福波	和	去勢	790	540	68.4	2,707	A5	94	9.7	11	1,461,780
(平均値)					(797.0)	(535.6)	(66.0)	(2,378)		(75.2)	(8.8)	(8.8)	(1,273,258)

## 子牛市場情報

和牛素牛全国主要市場成績令和6年3月度 一雌・去勢計の高値上位10市場(3月15日時点)－

都道府県	市 場	性	上場頭数	平均価格 円/頭(税込)	体重 kg	単価 円/kg	前回平均 円/頭(税込)	前回比 %
黒毛和種	全国計	雌	6,816	509,790	287	1,777	506,523	101
		去	8,714	635,720	310	2,051	631,103	101
		計	15,530	580,450	300	1,936	575,410	101
1 兵 庫	但 馬	雌	133	814,447	235	3,460	782,227	104
		去	164	951,802	262	3,638	969,809	98
		計	297	890,293	250	3,563	896,775	99
2 岐 阜	飛 騨	雌	205	596,807	239	2,495	600,902	99
		去	300	730,297	267	2,737	636,311	115
		計	505	676,423	256	2,645	622,962	109
3 北海道	十 勝	雌	849	600,090	315	1,906	564,830	106
		去	1,196	705,575	330	2,139	667,760	106
		計	2,045	661,554	324	2,045	622,868	106
4 佐 賀	畜産センター	雌	216	495,903	278	1,785	489,672	101
		去	284	688,775	295	2,338	652,053	106
		計	500	606,171	287	2,109	570,021	106
5 群 馬	渋 川	雌	120	505,699	299	1,690	473,918	107
		去	152	684,207	330	2,073	660,395	104
		計	272	604,491	316	1,911	581,224	104
6 鹿児島	薩 摩	雌	265	528,176	285	1,853	527,536	100
		去	287	671,556	318	2,114	564,533	119
		計	552	602,723	302	1,995	546,590	110
7 熊 本	熊 本 県	雌	516	523,806	290	1,806	500,618	105
		去	696	647,575	316	2,048	623,121	104
		計	1,212	595,267	305	1,951	570,437	104
8 鹿児島	始 良	雌	247	493,181	276	1,789	450,905	109
		去	303	652,293	303	2,150	581,635	112
		計	550	580,837	291	1,996	519,122	112
9 宮 崎	児 湯	雌	288	535,234	289	1,837	545,686	98
		去	371	607,075	301	2,020	593,139	102
		計	659	575,679	296	1,945	572,021	101
10 宮 城	総 合	雌	605	479,758	292	1,645	515,443	93
		去	680	657,179	322	2,043	633,406	104
		計	1,285	573,646	307	1,866	579,977	99





## 豚肉

1月の全国豚と畜頭数は1,414千頭(前年比102.2%)、2月(速報値)は1,345千頭(同102.6%)と前年を上回る見込み。1月を地域別に見ると多くの地域で上回ったが、中四国が前年並み、北海道、北陸甲信越で下回った。

1月の輸入通関実績は、豚肉全体で72.1千t(前年比96.2%、前月比106.4%)と前年を下回った。内訳は、チルドが34.7千t(同100.3%、同112.3%)、フローズンは37.4千t(同92.8%、同101.5%)となった。国別で見ると、チルドではカナダ、メキシコが増加し、フローズンでは米国、チリが増加し、デンマーク、カナダが減少した。

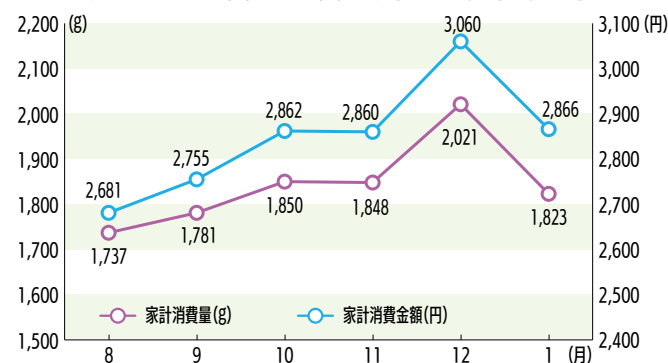
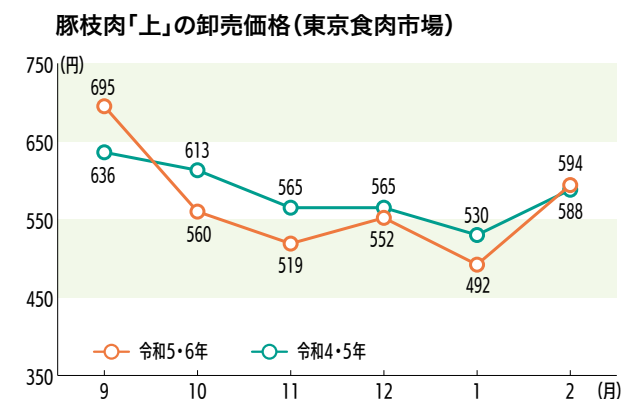
総務省発表の1月度家計調査報告によると、全国2人

以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,823g(前年比97.4%)、支出金額が2,866円(同98%)となり、購入量、金額ともに前年を下回った(2019年度比:購入量97.4%、金額110.6%)。

2月の東京市場枝肉卸売価格(速報値)は、594円/kg(前年比101%)と前年を上回った。鍋物需要がふるわず需要は伸び悩んだものの、関東地区の降雪による出荷乱れや寒暖差による成育遅れなどから需給が引き締まり強含みで推移した。3月の肉豚生産出荷予測では、前年を下回る見込みであるものの、2月の成育遅れ解消による出荷頭数増加、月後半の学校給食の休止等により需給が緩むことが予想されるため、弱含みでの推移を見込む。

【令和6年4月の相場予想】※東京市場 上物・税込560円

豚枝肉の家計消費量と消費金額(全国1世帯当たり)



## 牛肉

1月の成牛と畜頭数は、85.2千頭と前年を上回った(前年比101.7%)。内訳は、和牛:39.3千頭(同109.1%)、交雑牛:20.0千頭(同99.8%)、乳牛去勢:10.2千頭(同97.4%)。

輸入通関実績は、全体で43.3千tと前年を上回った(前年比108.4%、前月比119.8%)。チルドが17.0千t(同105.5%、同112.8%)、フローズンが26.3千t(同110.3%、同124.8%)。国別では、チルドは豪州が増加したが、その他の国は減少した。フローズンは豪州、ニュージーランド、米国が増加した。

総務省発表の1月度家計調査報告によると、全国2人以

上の1世帯当たり牛肉購入量は452g(前年比92.1%)、支出金額が1,752円(同98.3%)となり、購入量、支出金額ともに前年を下回った(※2019年度同月比:購入量82.5%、金額96.8%)。

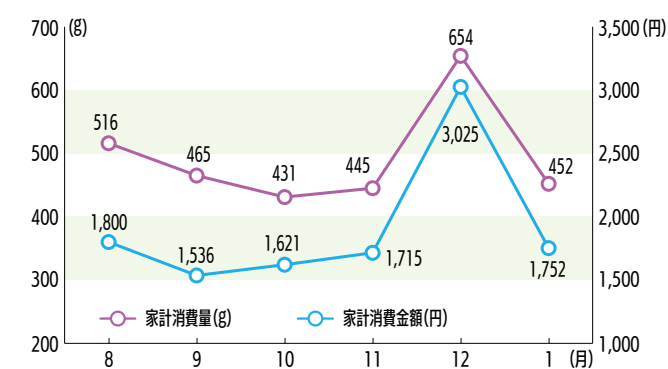
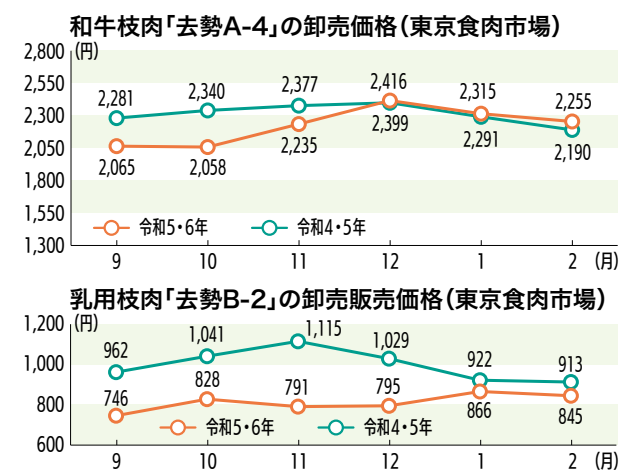
2月の東京市場枝肉卸売価格(速報値)は、和牛去勢A5が2,578円(前年比102.7%)、A4が2,255円(同103.0%)、交雑去勢B3が1,545円(同112.8%)、乳牛去勢B2が845円(同92.6%)であった。

3月は、和牛・交雑種とも横ばいに推移する見通し。和牛から交雑種への需要移行が続く見込みだが、コロナ5類移行後初の卒業式や送迎会時期となり和牛需要も高まると予想する。交雑種は弱含みで推移すると見込まれる。

【令和6年4月の相場予想】※東京市場 税込

◎和牛去勢A4:2,300円 ◎交雑去勢B3:1,600円 ◎乳牛去勢B2:850円

牛肉の家計消費量と消費金額(全国1世帯当たり)



## 鶏卵

1月の全国の餌付け羽数は7,432千羽(前年比93.8%)で前年を下回った。東西別の前年比は、東日本95.3%、西日本91.9%と前年を下回った。地域別に見ると、北海道エリア101.5%、北陸エリアで177.3%と大幅に増加したものの、東北エリアでは95.4%、関東エリアでは82.5%と前年を下回る推移となった。

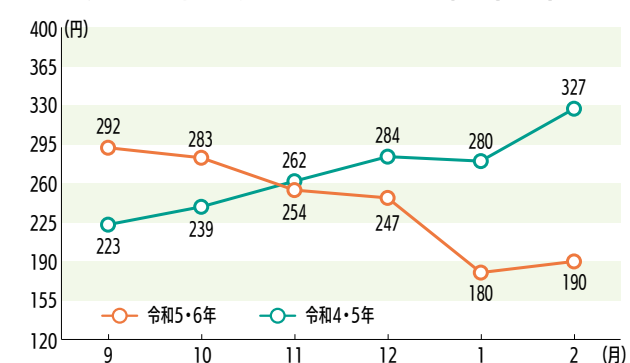
1月の鶏卵の1人当たりの家計消費量は898g(同100%)。コロナ禍前の令和元年比では101.9%であった。昨シーズンと比べて鳥インフルエンザの発生が限定的である点、鶏卵相場が前年を下回っている点が引き続き消費の向上に起因していると考えられる。今後は、気温の上昇に伴う冬季需要の低下により、テーブルエッグの引き合いは一定程度落ち着くことが予

想される。

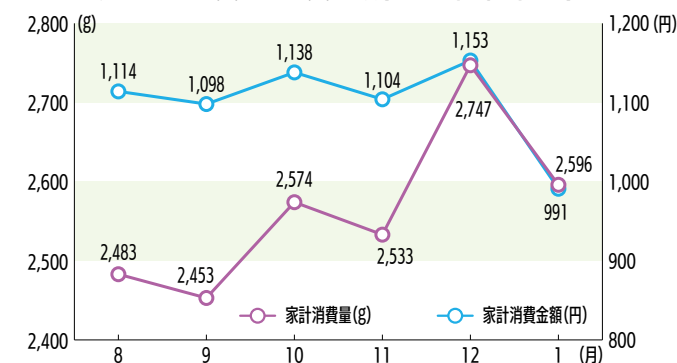
2月の東京相場の月間平均は、Mサイズ190円(前年比-137円、前月比+10円)。需要面では、量販筋では相場価格商品を筆頭に発注数量増の傾向が続いている。問屋筋では、サイズによっては瞬間的にタイトとなる局面があり、一部スポット取引も見られたが、定期中心の取引となった。一方、加工筋では、販売は軟調な状態が続いているものの、在庫消化が進んでいる。

今後については、供給面で春ごろまで生産復帰が継続する見込みである一方、一定期間生産調整の影響が継続すると見られ、産地在庫はややタイト目に推移していくと考えられる。また、需要面では春に向けた行楽需要の高まりや加工筋のメニュー変更等による販売好転の可能性に期待が寄せられる。こうした状況により、今後の相場展開は強含みの展開と予想する。

鶏卵取引価格・全農たまごMサイズ基準値(東京)



鶏卵の家計消費量と消費金額(全国1世帯当たり)



## 鶏肉

生産・処理動向調査によると1月の推計実績は処理羽数60,922千羽(前年比101.4%)、処理重量185.3千t(同101.6%)となった。前月時点の計画値より処理羽数は0.4%下方修正、処理重量は0.7%上方修正された。処理重量ベースで前月予測・前年実績以上の成績となり、育成は順調であったことがうかがえる。

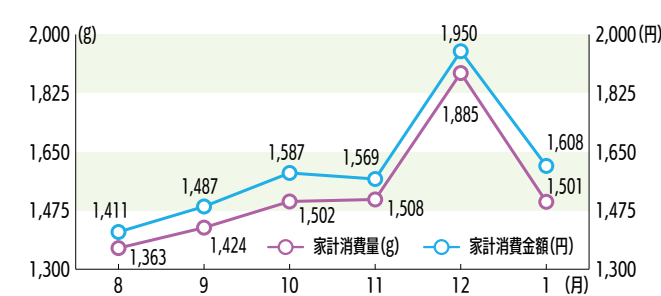
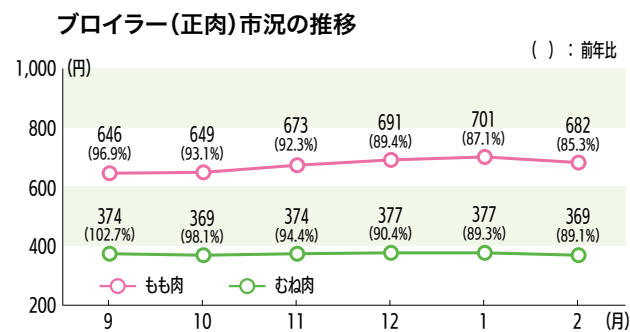
財務省発表の貿易統計によると、1月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から+3.7千tの54.7千tと上回った。国別ではブラジルが前月+7.5千tの41.3千tでタイが-3.2千tの12.9千tとなった。

1月の推定期末在庫では、国産31.2千t(前年比127.5%・前月差-2.4千t)、輸入品125.9千t(同100.2%・同+10.2千t)と合計で157.0千t(同104.7%・同+7.8千t)となった。2月の月平均相場は、もも肉682円/kg(前月差-19円)・

むね肉369円/kg(同-8円)正肉合計で1,051円/2kgと前月を27円下回り、前年同月を163円下回った。もも肉は月初693円、月末は673円となり、前年の相場を下回った。生産においては、前年に比べ鳥インフルエンザ等の発生も抑えられており、比較的順調に推移している。3月の生産量は工場稼働日数の減少により前年を下回る計画である。寒暖差の影響により増体悪化も懸念されるため、生産は若干減少すると考える。暖冬の影響で鍋商材の売れが鈍く、もも肉は量販店の特売用として輸入解凍品を販売している店舗も目立つ。むね肉は価格訴求品としての引き合いは強いが、冷凍品が年度末に向けて在庫消化の動きもあることから価格は若干下落基調だ。以上のことから、3月のもも肉相場は下げの月平均660円、むね肉相場はもちあいの月平均370円と予測する。

【令和6年4月の相場予想】 ◎もも肉:650円 ◎むね肉:370円

ブロイラーの家計消費量と消費金額(全国1世帯当たり)





# ちくさんクラブ21 人気記事ランキング

## 148号 読者アンケート編

1位

### JACCネット 和牛枝肉共励会・子牛市場情報

共励会・研究会(令和5年11・12月開催)で上位2位までの成績を収めた受賞牛のデータを一覧で確認できます。

読者からのコメント

和牛枝肉共励会情報がとても勉強になりました!  
(大分県・繁殖牛 よーちんさん)  
子牛市場情報の結果は大変励みになります!  
(兵庫県・肉牛繁殖 牛飼かつちゃん)

2位

### 第47回九州管内系統和牛枝肉共励会

「第47回九州管内系統和牛枝肉共励会(9月2日開催)」の成績結果、および入賞者コメントを掲載。

読者からのコメント

第47回九州管内系統和牛枝肉共励会で宮崎県が個人・団体ともに最高位を獲得したので、今後の励みになりました。  
(宮崎県・黒毛和種 佐藤原則さん)

3位

### きてみて!うちの学校 京都府立農芸高等学校

「和牛甲子園近畿ブロック飼育技術向上研修会(9月28日開催)」に参加された京都府立農芸高等学校の奮闘取材しました。

読者からのコメント

農場HACCPの導入やゲノム解析など、未来の畜産に関わる後継者たちに期待しています!  
(愛媛県・養豚 西岡 聖さん)

4位

### 教えて!中研(肉牛) 2023年のトピックス

子牛育成において特に気を遣う「離乳ストレス」。栄養補給により離乳ストレスを緩和できる研究トピックスをご紹介します。

5位

### ET研便り ゲノミック評価

どんな技術か良く分からない『ゲノミック評価』。全農の研究員がゲノミック評価の現状と今後の展望について、図解を交えながら解説をしています。

6位

### 教えて!中研(研究紹介) CoQ10による肉の軟化

牛肉の『やわらかさ』に関するCoQ10給与と混合飼料の研究結果をご紹介します。肉質の改善に興味のある方はぜひ一読下さい。

7位

### 一生懸命 宮城県/有限会社ビッグ夢ファーム

「豚がストレスなく健康に生活できること」を経営方針に掲げるビッグ夢ファーム様。人材育成や豚肉のブランド化にご尽力されています。

8位

### Dr.ジニアのMyカルテ 子牛の下痢対策

実際の農場の実例を交えながら、初乳給与方法の改善による下痢対策のチェックポイントをおさらいしています。下痢症でお悩みの方の参考になればうれしいです。

過去記事検索で見ると、もう読んだ? //

## WEB人気ランキング編

1位

### Dr.ジニアのMyカルテ 牛サルモネラ症の対策について(2022年8月掲載)

近年、発生が増えている牛サルモネラ症の主な症状と農場での対策をまとめました。

2位

### 配合飼料安定基金 概要と現在の情勢を解説(2023年7月掲載)

全農基金担当者が「分かりやすく」をテーマに、直近の安定基金の情勢と制度内容をまとめました。

3位

### 一生懸命 宮城県/有限会社ビッグ夢ファーム(2024年1月掲載)

ビッグ夢ファーム様の雇用確保・人材育成の取り組みは養豚以外にも活用できるたくさんの気づきをいただきました!

4位

### 配合飼料安定基金の緊急補てん制度(新たな特例)がスタート(2023年7月掲載)

令和5年度に開始された緊急補てん制度。本記事では制度内容の概略を説明しています。

過去記事は、WEB版から閲覧できます。

読み逃してしまった方は、ぜひWEBでご覧ください。

5位

### ET研便り ゲノミック評価(2024年1月掲載)

読者アンケートと同様人気となった和牛の育種価とゲノミック評価についての記事。ご興味ある方はWEBアーカイブからぜひ一読下さい。

6位

### 教えて!中研(養牛) 夏が来る前にサシバエ対策を!(2022年4月掲載)

2年前より、長い間人気記事となっているサシバエ対策。暑くなる前に、疾病の蔓延や家畜のストレスの原因になるサシバエ対策をお早めに!

7位

### 共創するチカラ 香川県/農事組合法人東山産業(2024年1月掲載)

特産品とコラボレーションし、畜産物のブランド化の取り組みをされている東山産業様。地域の魅力を活かした取り組みに注目です。

8位

### 海外レポート 拡大する中国の牛肉市場(全農(上海)貿易有限公司)(2022年6月掲載)

全農(上海)貿易有限公司から、中国の牛肉消費の情勢と今後についてまとめたレポート記事をお届けします。

# 読者の広場

気象庁の発表によると、6月から8月にかけて、全国的に気温が高くなると予測されています。

本格的な夏が来る前に、暑さ対策をすることが大切です。今号の「教えて!中研」では夏場対策のポイントを特集しているので、ぜひ、ご参考ください。

## 読者から一言

●AW(アニマルウェルフェア)の直近情勢と今後の飼養システムについてもっと知りたい。  
(愛媛県・養鶏 ありけんさん)

AWの海外情勢や飼養管理について特集致します。

●「Dr.ジニア」や「教えて!中研」はとても勉強になります。「一生懸命」は、分野は違えど努力や工夫をしている人たちを知ると自分も頑張ろうと思えます。繁殖や子牛育成に関することはたくさん知りたいです。  
(宮崎県・肉牛繁殖 匿名希望さん)

技術情報は好評いただいています。皆さまの知りたい情報をこれからもお届けします。

●CSF(豚熱)の防疫対策の記事が大いに参考になりました。徳島県内で捕獲した野生イノシシのウイルス発生事例は1月末時点で44例目となったとのこと。飼養衛生管理基準の順守を徹底したいと思っています。  
(徳島県・養豚 とんとんさん)

畜産経営において、防疫の重要性は年々増えています。これからも防疫に関する情報をお届けしたいと思います。

※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。

「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

●いつも興味深く愛読しています。「きてみて!うちの学校」は若い世代の活動が頼もしく、我々も頑張っていこうと前向きに思えました。テーマとしては、今後参考にしたいので、帳簿の見方、活かし方を教えていただきたいです。よろしくお願いします。  
(大分県・肉牛繁殖 おいさん)

高校生がまっすぐに畜産に向き合っている姿は取材していて感動します。これからも高校生の取り組みに注目していきます。

●印象に残った記事は「一生懸命」。同じ宮城県で同じ畜産業でありながら養豚の事はあまり知りませんでしたが、今回の記事で色々な努力や工夫をしながら、頑張っている同業者を見て、自分たちも頑張ろうと改めて感じました。  
(宮城県・肉牛繁殖 もあいさん)

畜種が違って重なるところはあると思います。参考にできれば幸いです。

●牛の繁殖について。特にエサのメニュー、注意点。よく受胎する牛づくり。もっと言えば牧草づくりについて、取り上げてほしい。農家に寄り添った情報記事でもとても面白く、参考にさせていただいています。  
(群馬県・肉牛繁殖 えみどんさん)

繁殖牛においては空腹ストレスの対応が肝要です。まずは粗飼料を腹いっぱい食べさせることを心がけてください。私たちは農家の皆さまに寄り添うことが目標なので、うれしいです!

表紙写真  
山梨県の小林牧場の従業員さんと神奈川県立中央農業高等学校の皆さん

編集委員  
鈴木和明/出田篤司/澤明/森本哲生/嶋亮一/相良倫成/村越勇人/内堀寛之/泉瑞枝/児玉博士/加藤美和/笹渡翔/岩橋かをり/小宮山大介/皆川修人

発行元  
JA全農畜産生産部推進・商品開発課  
東京都千代田区大手町1-3-1  
TEL03-6271-8236 FAX03-5218-2526

令和6年4月発行(季刊)※本誌の無断転載を禁じます



## プレゼントの 応募方法

プレゼントの応募方法には「本誌とじ込みハガキ・QRコード(二次元コード)・ちくさんクラブ21ホームページのアンケートフォーム」の3つの方法があります。

「QRコード(二次元コード)」とホームページの「アンケートフォーム」からの応募方法についてご紹介します。

### QRコード(二次元コード)からの応募



**step 1** カメラを起動します。(QRコードリーダー等のアプリでも大丈夫です!)



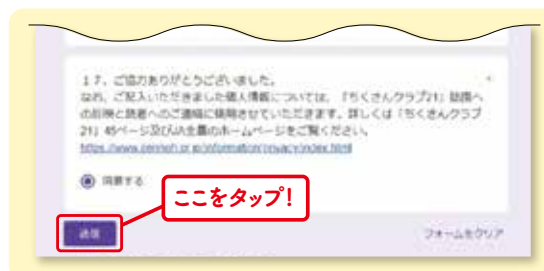
**step 2** QRコードをカメラに近づけます。



**step 3** 読み取ると、画面にちくさんクラブ21のアンケートフォームのURLが表示されます。  
※URLの表示はご利用のスマートフォンの機種によって異なります。



**step 4** 表示されたURLをタップすると、最新号のアンケートフォームのページへと移動します。



**step 5** アンケートの必要事項にご記入後、「送信」ボタンをタップするとプレゼントの応募が完了します。

抽選で10名様にプレゼントが当たります!



### ちくさんクラブ21ホームページの アンケートフォームからの応募

ちくさんクラブ21のホームページから応募の場合は、画面右上の「アンケートフォーム」をクリックして、アンケートにお答えください。

詳しくは「ちくさんクラブ」検索



ちくさんクラブ21のホームページ▶



皆さまからの応募をお待ちしております!

# プレゼント

present

QRコード(二次元コード)での応募はこちらから



締め切り

2024年  
5月17日(金)  
到着分まで

本誌に対するご意見や、読者アンケートにお答えをいただいた方の中から、抽選でJAタウンに出品されている各地の名産品等をプレゼントします。申し込みはとじ込みハガキ・QRコードをご利用ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

JAみえきたより

非常時持出米  
防災スタートパック(備蓄用天然水付き)

10  
名様!!

もしも!に備えて  
最長8年・長期保存可能な  
おいしい非常食パックを  
ご用意しました!



110g入り缶2個(わかめごはん×1、白飯×1)+水500ml×2本(缶内部に付属スプーン1個)

保存性の高い  
アルミ缶入り!

三重県産のコシヒカリでつくった  
“おいしい”非常食

- わかめごはん和白飯の2つの味を楽しめる
- おいしいコシヒカリがなんと最長8年保存OK!
- 天然水もセットになっているので、災害時にこれ一つでOK!
- お湯が作れなくても、水でOK!

お湯なら **お湯または水を注ぐだけ**  
20分

缶のフタを開け、スプーンを取り出します。

お湯または水を注ぎます。

step 3

付属のスプーン等で軽くかきまぜて、フタをします。

step 4

戻し時間(熱湯20分、水60分)が経ったら、おいしく召し上がれ!

ちくさんクラブ21及びハガキ・メール、アンケートの個人情報保護法対応

ご提供いただいた個人情報は①誌面企画への反映、②質問に対する回答発送、③意見に対する確認作業、④プレゼント発送に利用いたします。また、この情報はJA全農からの情報提供を目的として利用させていただくこともあります。個人情報はJA全農個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。詳しくは「JA全農ホームページ」にあります個人情報に関するご案内をご覧ください。https://www.zennoh.or.jp